magicolor® 2590MF
リファレンスガイド

4556-9604-00K

1800838-014A

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標および商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標および商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。

4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第３者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

もくじ

1 Mac OS X での使い方

プリンタドライバの動作環境

プリンタドライバのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

コンピュータ	以下の CPU を搭載した Apple Macintosh : ・PowerPC G3 以上（PowerPC G4 以上を推奨） ・Intel プロセッサ
コンピュータと プリンタの接続方法	USB 接続、 ネットワーク接続（10Base-T/100Base-TX）
オペレーティング システム	Mac OS X v10.2.8 以降（最新のパッチの適応を推奨）
メモリ	128 MB 以上
ハードディスク 空き容量	256 MB 以上
対応言語	日本語、英語、フランス語、ドイツ語、 イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、 ロシア語、チェコ語、スロバキア語、 ハンガリー語、ポーランド語、韓国語、 簡体字中国語、繁体字中国語

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのインストールを行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。

プリンタドライバのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

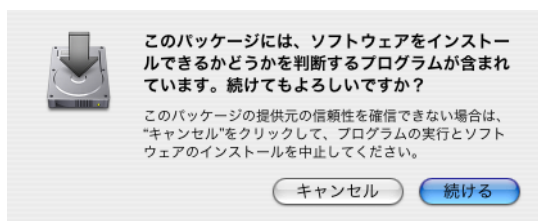
以降の説明では、スキャナドライバを TWAIN ドライバと表現することがあります。

magicolor 2590MF プリンタドライバのインストール

下記は、Mac OS X v10.4 を使用した場合の手順です。お使いの OS のバージョンによっては下記の手順と操作が異なる場合があります。実際の画面の指示にしたがって操作してください。

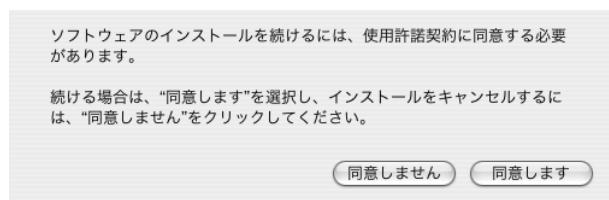
1 magicolor 2590MF Drivers & Documentation CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

2 デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、「Mac」フォルダ -「Printer Driver」フォルダ内の「magicolor 2590MF.pkg」をダブルクリックします。

プリンタドライバのインストーラが起動します。

3 ［続ける］をクリックします。

4 ［続ける］をクリックします。

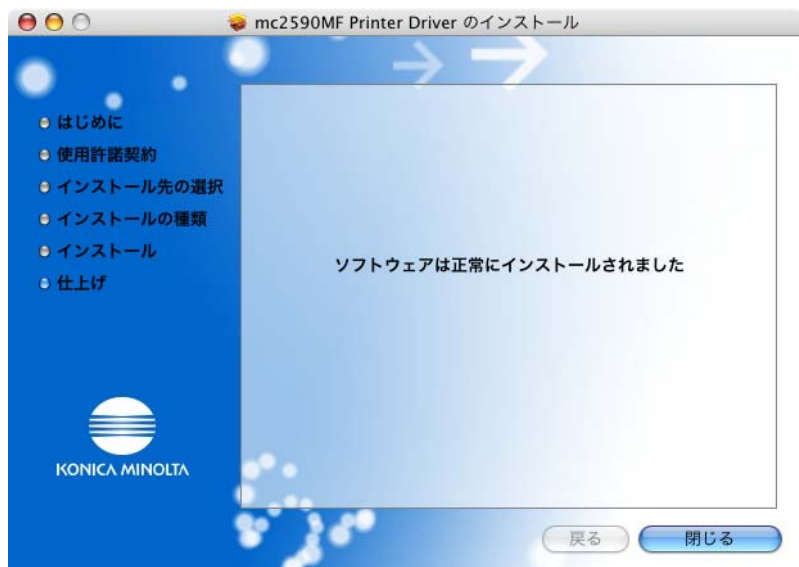
5 使用許諾契約画面で、内容を確認し、[続ける] をクリックします。

6 確認画面で、[同意します] をクリックします。

7 インストール先を指定する画面で、インストールを行うディスクを選択し、［続ける］をクリックします。

8 簡易インストール画面で［インストール］をクリックします。

インストールが始まります。

9 認証画面で、管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

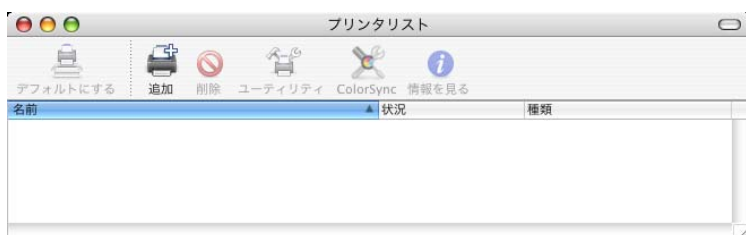
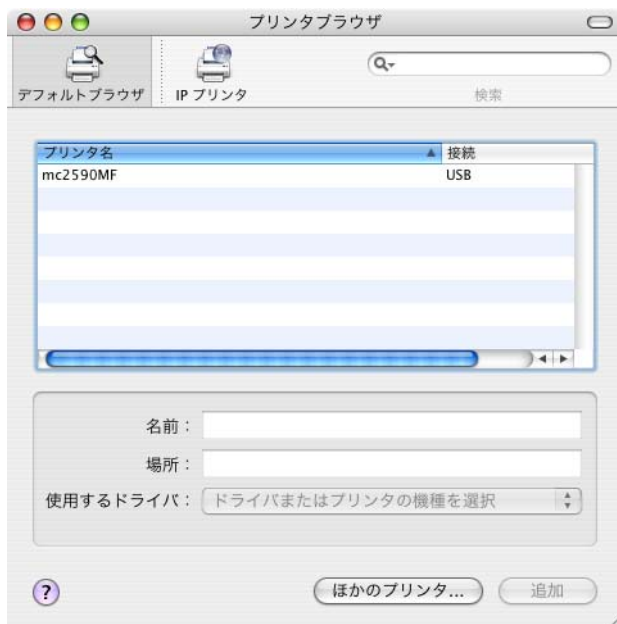
10 インストールが完了したら [閉じる] をクリックします。

これで、magicolor 2590MF プリンタドライバのインストールが完了しました。

プリンタ設定ユーティリティの設定

USB 接続の場合

1 USB ケーブルで、プリンタとコンピュータを接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、[追加] をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンタが表示されます。

4 プリンタブラウザ画面の「プリンタ名」リストから「mc2590MF」を選択します。

「mc2590MF」が表示されないときは、プリンタの電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピュータを再起動してください。

5 「使用するドライバ」ポップアップリストで「KONICA MINOLTA magicolor 2590MF」が選択されていることを確認します。

6 ［追加］をクリックします。

お使いの環境に合わせてオプショントレイ、両面ユニットを選択し、［続ける］をクリックします。

プリンタリストに新しいプリンタが表示されます。

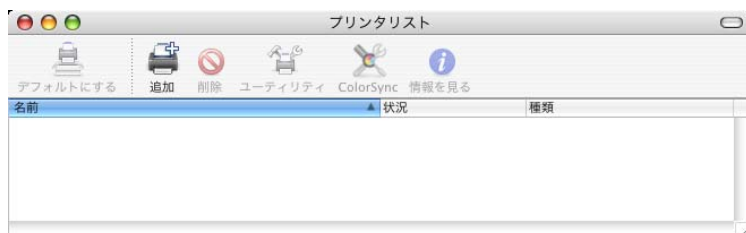
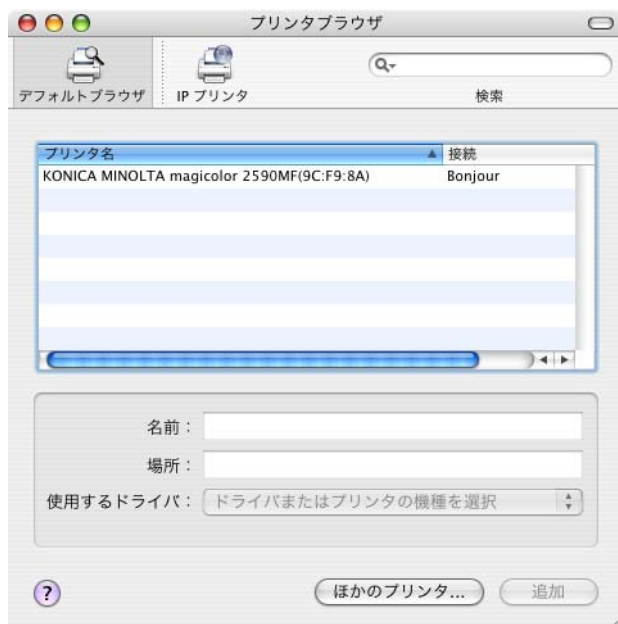
ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、Bonjour 設定と IP プリント設定（IPP 設定、ポート 9100 設定、LPD 設定）があります。

Bonjour 設定

1 プリンタを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、［追加］をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンタが表示されます。

4 プリンタブラウザの「プリンタ名」リストから、「KONICA MINOTA magicolor 2590MF(xx:xx:xx)」を選択します。

xx:xx:xx は MAC アドレスの後半 6 桁です。

5 「KONICA MINOLTA magicolor 2590MF」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

6 ［追加］をクリックします。

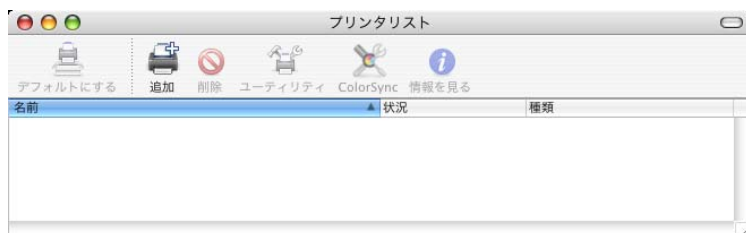
7 お使いの環境に合わせてオプショントレイ、両面ユニットを選択し、［続ける］をクリックします。

プリンタリスト画面に、新しいプリンタが表示されます。

IP プリント設定（ポート 9100 設定 /LPD 設定）

1 プリンタを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で［追加］をクリックします。

4 ［IP プリンタ］をクリックします。

5 「プロトコル」ポップアップメニューから、プロトコルを選択します。

IPP 設定の場合、「IPP （Internet Printing Protocol）」を選択します。

LPD 設定の場合、「LPD（Line Printer Daemon）」を選択します。

ポート 9100 設定の場合、「Socket/HP Jet Direct」を選択します。

6 「アドレス」ボックスにプリンタの IP アドレスを入力します。

LPD 設定の場合、「キュー」テキストボックスに「lp」と入力します。

IPP 設定の場合、「キュー」テキストボックスに「ipp」と入力します。

7 必要に応じて、「名前」ボックスにプリンタの名前を入力します。

8 必要に応じて、「場所」ボックスにプリンタの設置場所を入力します。

9 「使用するドライバ」ポップアップリストで「KONICA MINOLTA magicolor 2590MF」が選択されていることを確認します。

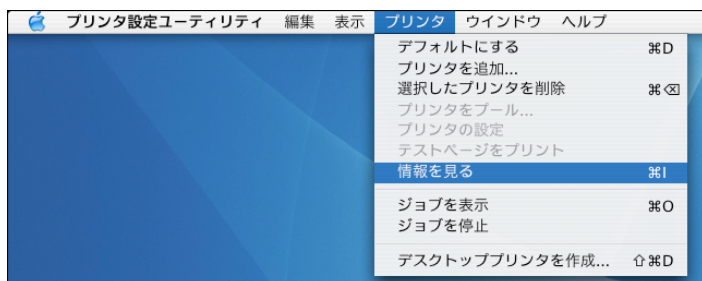
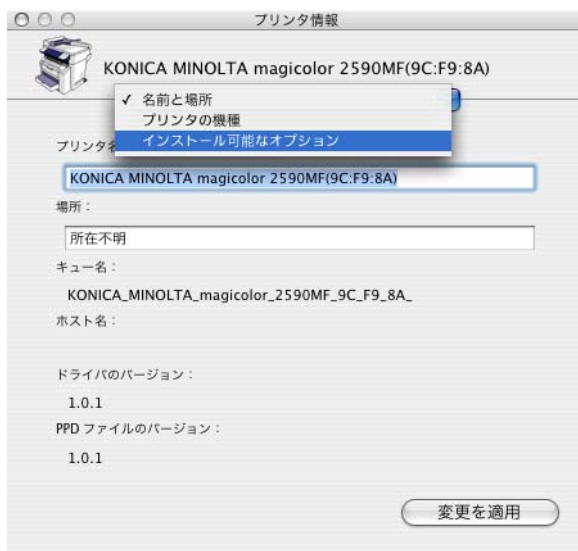
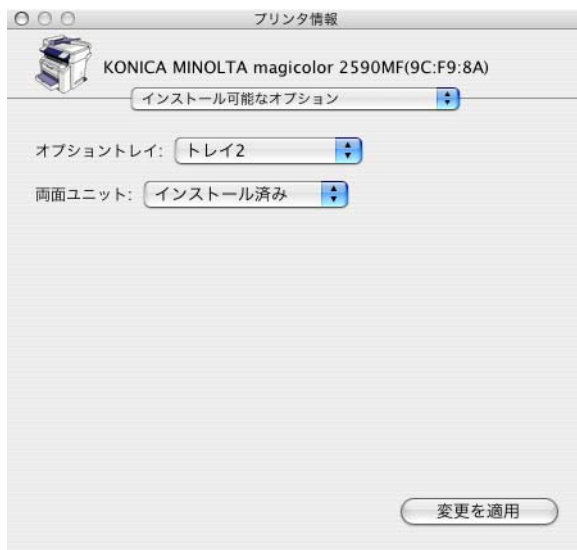
10 お使いの環境に合わせて、オプショントレイ、両面ユニットを選択し、［続ける］をクリックします。

11 ［続ける］をクリックします。

プリンタリストに新しいプリンタが表示されます。

オプションの設定

1 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

2 プリンタリスト画面で本機を選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。

3 ポップアップメニューから「インストール可能なオプション」を選択します。

4 お使いの環境に合わせてポップアップメニューからオプショントレイ、画面ユニットを選択し、［変更を適用］をクリックします。

5 プリンタ情報画面を閉じます。

プリンタドライバのアンインストール

1 magicolor 2590MF Drivers & Documentation CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

2 デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、「Mac」フォルダー「Printer Driver」フォルダ内の「magicolor 2590MF アンインストーラー」をダブルクリックします。

以下のメッセージが表示され、プリンタドライバのアンインストーラーが起動します。

3 ［削除］をクリックします。

4 認証画面で管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

5 アンインストールが完了したら［閉じる］をクリックします。

これで、magicolor 2590MF プリンタドライバのアンインストールが完了しました。

ページ設定画面の設定

アプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」または「ページ設定 ...」を選択したときに表示されます。

1 「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」または「ページ設定 ...」を選択します。

ページ設定画面が表示されます。

2 「対象プリンタ」ポップアップメニューから本機を選択します。

ページ設定画面の「設定」ポップアップメニューで表示される各メニューでは、以下のような設定を行うことができます。

設定	設定内容
ページ属性	用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行います。
デフォルトとして保存	変更した設定を初期値として保存します。

ページ属性メニュー

ページ属性画面では、用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行うことができます。

■ 用紙サイズ

用紙サイズをポップアップメニューから選択します。

■ 方向

印刷方向を選択します。

■ 拡大縮小

拡大縮小して印刷する場合は、拡大縮小の比率を入力します（25 ～ 400%）。

どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4 mm までの範囲は印刷できません。

カスタム・ページ・サイズメニュー

ページ属性画面（前ページ）の「用紙サイズ」ポップアップメニューから「カスタムサイズを管理」を選択すると、カスタム・ページ・サイズ画面が表示されます。

カスタム・ページ・サイズ画面では、カスタム用紙サイズの設定を行うことができます。

■ ＋

新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。

■ 複製

すでにあるカスタム用紙サイズを複製して新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。

■ −

選択しているカスタム用紙サイズを削除するときにクリックします。

■ ページサイズ

縦と横のサイズを入力して、カスタム用紙サイズを設定します。

本プリンタで設定できる数値は、以下のとおりです。

長さ： 14.8 cm ～ 35.6 cm　　幅： 9.2 cm ～ 21.6 cm

■ プリンタの余白

ページの上下左右の余白（マージン）の値を設定します。

プリント画面の設定

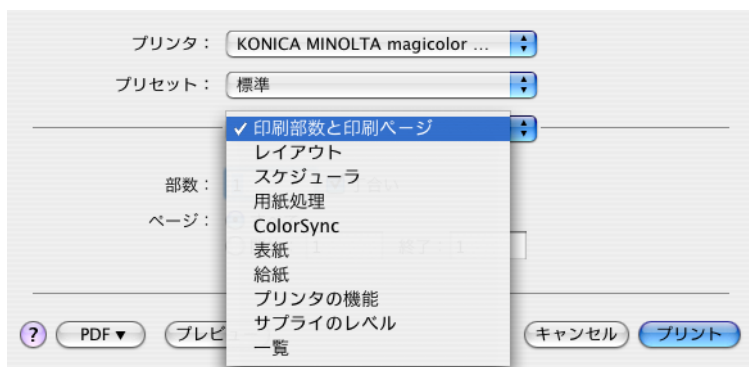
ここでは、アプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択したときに表示されるプリント画面について説明します。

1 「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択します。

プリント画面が表示されます。

2 「プリンタ」ポップアップメニューから本機を選択します。

プリント画面のポップアップメニューでは、以下のような設定を行うことができます。

プリント設定のメニュー

メニュー	設定内容
印刷部数と印刷ページ	印刷するページや部数を設定します。
レイアウト	印刷時のページレイアウトや、両面印刷の設定をします。
スケジューラ	ジョブを印刷するタイミングや優先順位を設定します。
用紙処理	印刷するページの順番や、印刷するページを設定します。
ColorSync	ColorSync の設定をします。
表紙	表紙の設定を行います。
給紙	給紙方法を設定します。

メニュー	設定内容
プリンタの機能	原稿サイズの用紙がトレイに無いときに、近いサイズの用紙を自動的に検出するかどうかの設定と、用紙の裏面に印刷する時の設定を行います。
サプライのレベル	消耗品の状態を表示します。
一覧	現在の印刷設定を確認することができます。

同時に設定できない機能などを指定しても、警告メッセージは表示されません。

共通のボタン

■ ?（ヘルプボタン）

プリント画面のヘルプを表示します。

■ PDF

PDF メニューを表示したいときに、このボタンをクリックします。ページ出力を PDF ファイルとして保存したり、PDF をファクス送信したりできます。

■ プレビュー

印刷を行う前に印刷イメージを確認したいときに、このボタンをクリックします。

■ キャンセル

変更した設定を無効（キャンセル）にして、画面を閉じます。

■ プリント

変更した設定を有効にして、印刷を行います。

印刷部数と印刷ページメニュー

印刷部数と印刷ページ画面では、印刷するページや部数の設定を行います。

■ 部数

印刷部数を設定します。「丁合い」をチェックすると、丁合い機能が働き、文書全体が 1 部ずつまとまって印刷されます。

例えば部数を「5」にして「丁合い」をチェックすると、文書の最初のページから最後のページまでが 5 回印刷されます。

■ ページ

すべて：　全ページを印刷します。

開始、終了：　印刷するページを指定します。

レイアウトメニュー

レイアウト画面では、印刷時のページレイアウトや、両面印刷に関する設定を行います。

■ ページ数／枚

1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。例えば「2」を選択すると、1 枚の用紙に 2 ページ分が印刷されます。

■ レイアウト方向

1 枚の用紙に複数ページを印刷する場合に、ページをどのような方向、順番で印刷するかをクリックして選択します。

■ 境界線

1 枚の用紙に複数ページ印刷する際、各ページの周りに境界線を印刷する場合は、ポップアップメニューから境界線の種類を選択します。

■ 両面

オプションの両面プリントユニットが装着されている場合、両面印刷に関する設定を行います。

切：	両面印刷を行いません。
長辺とじ：	長辺とじで両面印刷を行います。
短辺とじ：	短辺とじで両面印刷を行います。

両面印刷を行うときは、「オプションの設定」（p.27）で「両面ユニット」を選択しておいてください。
「両面ユニット」を選択していなくても「長辺とじ」または「短辺とじ」の項目をチェックできますが、その場合はプリントジョブがキャンセルされます。

スケジューラメニュー

スケジューラ画面では、ジョブを印刷するタイミングと優先順位の設定を行います。

■ 書類をプリント

今すぐプリント：すぐに印刷を開始します。

後でプリント：　印刷を開始する時刻を指定します。

保留：　　　　　プリントジョブを保留します。

■ 優先順位

保留しているジョブを印刷する時の優先順位を設定します。

用紙処理メニュー

用紙処理画面では、印刷するページの順番や、印刷するページの設定を行います。

■ ページの順序

自動：文書のページ順序で印刷するときに選択します。

通常：通常のページ順序で印刷するときに選択します。

逆送り：印刷するページの順番を逆にして印刷するときに選択します。

■ プリント

すべてのページ：全てのページを印刷します。

奇数ページ：奇数ページのみ印刷します。

偶数ページ：偶数ページのみ印刷します。

■ 出力用紙サイズ

使用する出力用紙サイズ：ソフトウェアが作成した書類のサイズを使用するときに選択します。

用紙サイズに合わせる：書類の用紙サイズを、プリンタで使用されている用紙サイズに合わせるときに選択します。

プリンタで使用されている用紙サイズを指定します。

ColorSync メニュー

■ カラー変換

コンピュータでカラーマッチングを行うか、プリンタでカラーマッチングを行うかを選択します。

■ Quartz フィルタ

Quartz フィルタを選択します。

表紙メニュー

■ 表紙をプリント

書類の前か、書類の後に表紙を印刷できます。

■ 表紙のタイプ

表紙の種類を選択します。

■ 課金情報

表紙に印刷される課金情報を設定します。

給紙メニュー

給紙画面では、給紙方法の設定を行います。

■ 全体

すべてのページで使用する給紙トレイを選択します。

■ 先頭ページのみ

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページで使用する給紙トレイを選択します。

■ 残りのページ

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に、最初のページ以外で使用する給紙トレイを選択します。

オプションの給紙トレイを装着している場合は、「オプションの設定」（p.27）で「トレイ 2」を選択しておいてください。オプションの設定画面で「トレイ 2」が選択されていない場合は、給紙画面の「トレイ 2」の項目はグレー表示になり選択できません。

プリンタの機能メニュー

プリンタの機能画面では、「基本機能」「カラーマッチングオプション」「イメージオプション」「ウォーターマーク選択」「ウォーターマークの向き」「ウォーターマーク設定」の設定を行います。

基本機能

■ 解像度

印刷時の解像度を選択します。

■ ラインアート

チェックをつけると、さらに精密な画像の印刷ができます。

■ 用紙の種類

用紙の種類を選択します。

■ カラーモード

カラー印刷（カラーマッチング オン／カラーマッチング オフ）かグレイスケール印刷かを選択します。

カラーマッチングオプション

■ レタリング・インテント

カラーマッチングの設定を選択します。

なめらかな色調：　写真画像に適したカラーマッチングを行います。

測色的に一致：　オリジナル画像の色合いに近い色合いを再現します。ただしモニター上での色が鮮やかでプリンタでは表現できないような色の場合、その色に最も近いプリンタで再現できる色に全て置き換えられますので、その部分の色の違いは表現できません。

あざやかな色彩：　ビジネスグラフィックスに適したカラーマッチングを行います。

イメージオプション

■ 180 度画像回転

画像を 180 度回転させて印刷するときにチェックします。

■ 画像をシフトする。

画像を X 方向または Y 方向にずらして印刷するときにチェックします。

X: 画像を X 方向にずらす幅を選択します。

Y: 画像を Y 方向にずらす幅を選択します。

ウォーターマーク選択

■ ウォーターマーク

ウォーターマークを使用するか、使用しないかを選択します。

ウォーターマークの向き

■ ウォーターマークの向き

ウォーターマークの文字の向きを選択します。

■ ユーザー設定

この項目をチェックすると、ウォーターマークの角度を選択できます。

■ 角度

ウォーターマークの角度を選択できます。

ウォーターマーク設定

■ ウォーターマークテキスト

ウォーターマークの文字列を選択します。

■ ウォーターマークフォント

ウォーターマーク文字列のフォントを選択します。

■ ウォーターマークサイズ

ウォーターマーク文字列のフォントサイズを選択します。

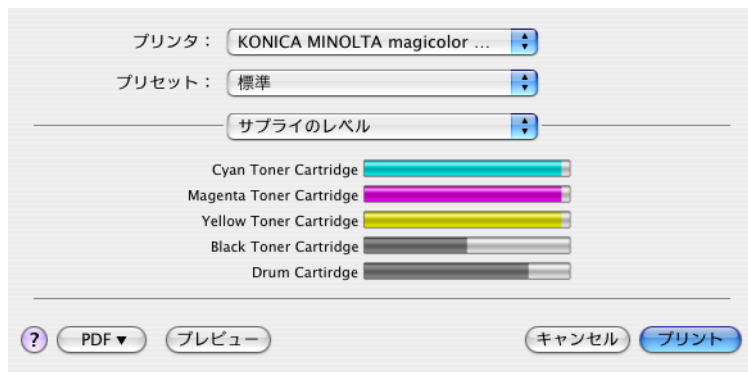
■ ウォーターマーク色

ウォーターマークの文字色を選択します。

■ ウォーターマーク輝度

ウォーターマークの濃度を選択します。

サプライのレベルメニュー

サプライのレベル画面では、現在の消耗品の状態を確認することができます。

サプライのレベルメニューは、Mac OS X v10.4 で Bonjour 接続、IPP 接続、LPD 接続された場合に表示されます。

お使いのアプリケーションによってはサプライのレベルメニューが表示されないことがあります。

一覧メニュー

一覧画面では、現在のプリント設定を確認することができます。

追加機能の使い方

Mac OS X 10.3. x では、以下の追加機能が利用できます。

■ 小冊子印刷

書類を小冊子の形式で印刷します。左または右にとじしろを設定します。

■ 出力サイズに合わせた印刷

書類の用紙サイズを、任意の用紙サイズに合わせて印刷します。

出力サイズに合わせた印刷機能を利用して印刷した場合、画像は用紙の中央に配置されて印刷されます。

ここでは、追加機能の使い方を説明します。

1 「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。

プリント画面が表示されます。

2 「PDF」ポップアップメニューから、「KONICA MINOLTA」を選択し、利用したい機能を選択します。

選択した追加機能の画面が表示されます。

3 必要な設定を行い、「プリント」をクリックします。

書類がプリントされます。

小冊子印刷

■ 小冊子印刷左とじ

書類の左側にとじしろを設定します。

■ 小冊子印刷右とじ

書類の右側にとじしろを設定します。

■ 用紙種類

印刷したい用紙の種類を選択します。

用紙の種類は、使用する用紙サイズで利用できるものを選択してください。

■ 印刷

書類が、とじしろを設定されて印刷されます。

■ キャンセル

印刷を中止します。

出力サイズに合わせた印刷

■ 原稿サイズ

書類の元のサイズが表示されます。

■ 出力サイズ

印刷したい用紙サイズを選択します。

■ 用紙種類

印刷したい用紙の種類を選択します。

用紙の種類は、使用する用紙サイズで利用できるものを選択してください。

■ 印刷

書類が、選択した用紙サイズに合わせて自動的に縮小または拡大されて印刷されます。

■ キャンセル

印刷を中止します。

スキャナドライバの動作環境

スキャナドライバのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

コンピュータ	以下の CPU を搭載した Apple Macintosh： - PowerPC G3 以上（PowerPC G4 以上を推奨） - Intel プロセッサ
コンピュータとプリンタの接続方法	USB 接続
オペレーティングシステム	Mac OS X v10.2.8 以降
メモリ	128 MB 以上
ハードディスク空き容量	256 MB 以上
対応言語	日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、チェコ語、スロバキア語、ハンガリー語、ポーランド語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語

スキャナドライバのインストール

スキャナドライバのインストールを行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。

スキャナドライバのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

以降の説明では、スキャナドライバを TWAIN ドライバと表現することがあります。

magicolor 2590MF スキャナドライバのインストール

下記は、Mac OS X v10.4 を使用した場合の手順です。お使いの OS のバージョンによっては下記の手順と操作が異なる場合があります。実際の画面の指示にしたがって操作してください。

1 magicolor 2590MF Drivers and Documentation CD-ROMをCD-ROM/DVD ドライブに入れます。

2 デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、「Mac」フォルダー「Scanner Driver」フォルダ内の「mc2590MF Scanner.pkg」をダブルクリックします。

スキャナドライバのインストーラが起動します。

3 ［続ける］をクリックします。

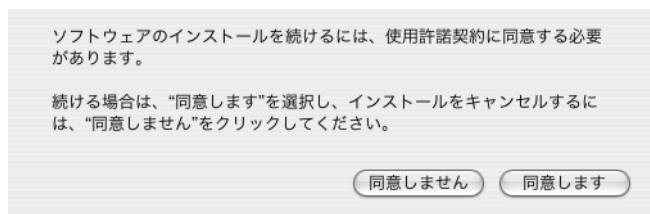
4 ［続ける］をクリックします。

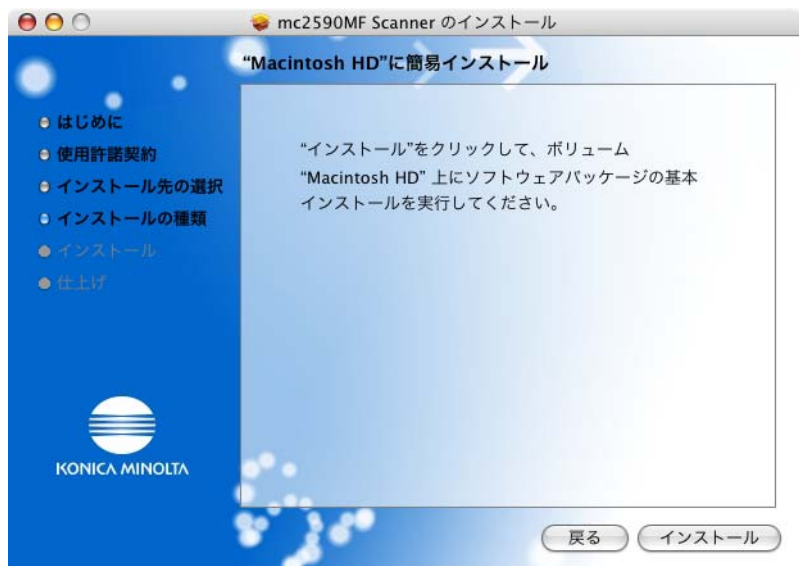
5 使用許諾契約画面で、内容を確認し、［続ける］をクリックします。

6 確認画面で、［同意します］をクリックします。

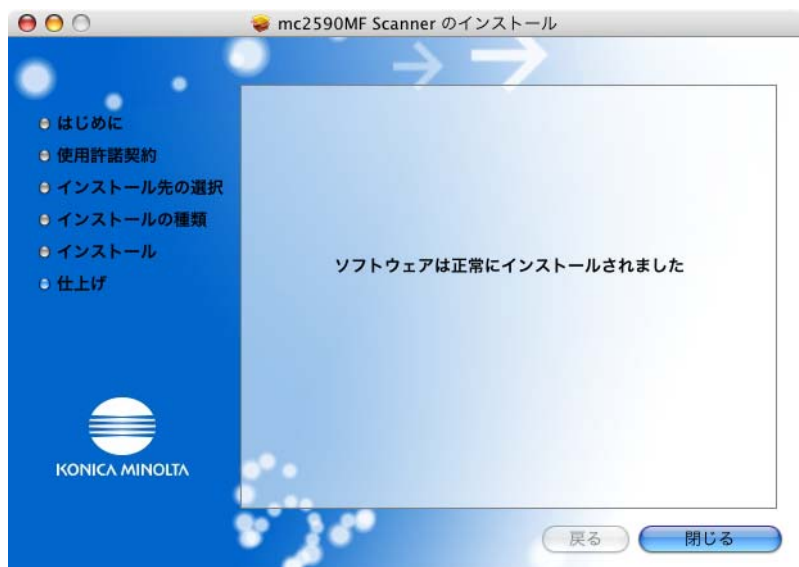
ソフトウェアのインストールを続けるには、使用許諾契約に同意する必要があります。

続ける場合は、“同意します”を選択し、インストールをキャンセルするには、“同意しません”をクリックしてください。

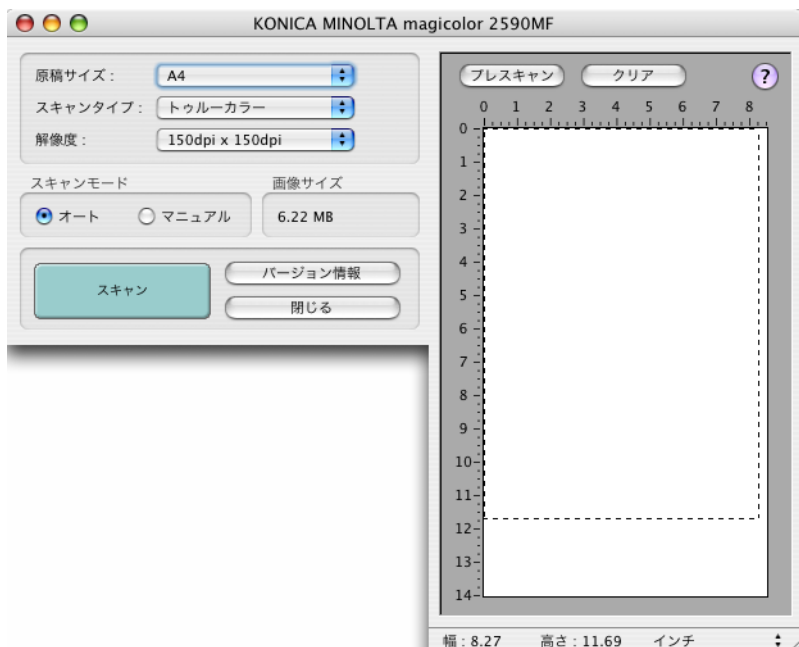
同意しません　同意します

7 インストール先の選択画面で、インストールを行うディスクを選択し、［続ける］をクリックします。

8 ［インストール］をクリックします。

9 認証画面で、管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

インストールが始まります。

10 インストールが完了したら［閉じる］をクリックします。

これで、magicolor 2590MF スキャナドライバのインストールが完了しました。

スキャン画面の設定

オートスキャンモード

■ 原稿サイズ

原稿の大きさを指定します。

■ スキャンタイプ

スキャンのタイプを指定します。

■ 解像度

解像度を指定します。

■ スキャンモード

「オート」または「マニュアル」を選択します。

「マニュアル」を選択すると、「回転タイプ」、「明るさ / コントラスト」、「鮮明さ」、「カーブ」、「レベル」、「カラーバランス」、「色相／彩度」の設定ができます。

■ 画像サイズ

スキャンした画像のサイズ（データ容量）が表示されます。

■ スキャン

クリックすると、スキャンを開始します。

■ バージョン情報

ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

■ 閉じる

クリックすると、TWAIN ドライバの画面を閉じます。

■ プレビュー画面

スキャンのプレビューを表示します。

■ クリア

プレビューを消去します。

■ 幅 / 高さ

スキャンされる領域の、幅と高さが表示されます。

■ プレスキャン

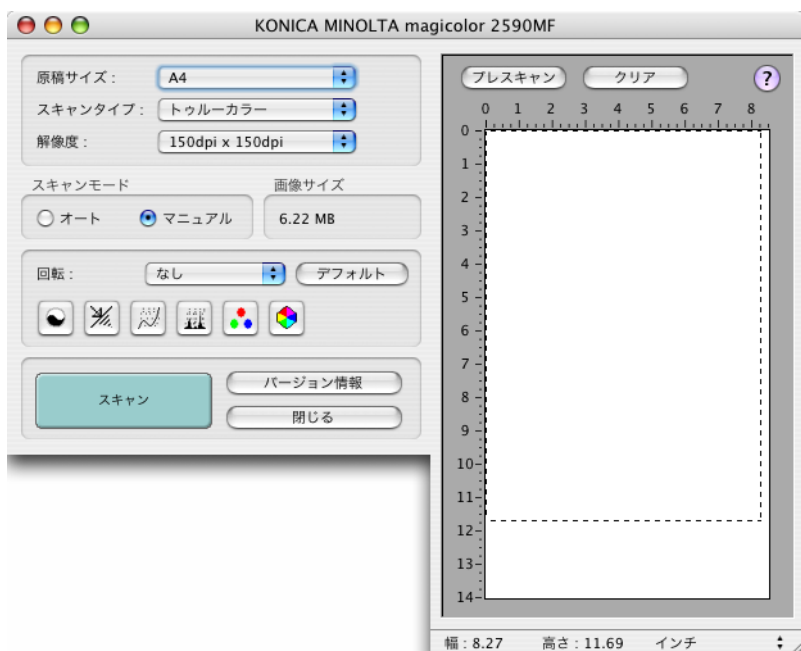
プレビュー画面に、プレビューを表示します。

■ クリア

表示されているプレビューを消去します。

■ ヘルプ

ヘルプが表示されます。

マニュアルスキャンモード

■ 回転タイプ

TWAIN ドライバがサポートする回転タイプは、次の 3 種類です。

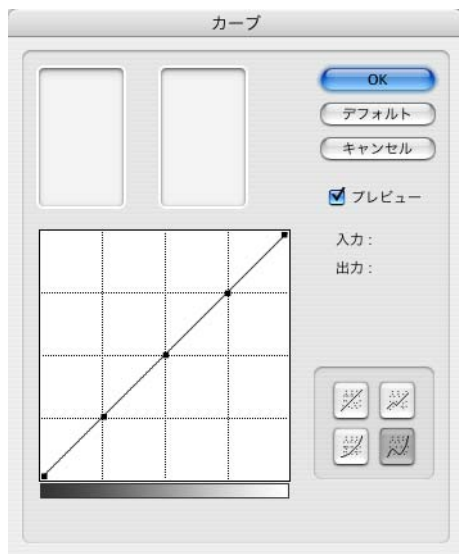
なし、右へ 90°、左へ 90°

■ 明るさ / コントラスト

画像の明るさおよびコントラストを設定します。

■ 鮮明さ

画像をシャープにしたりぼかしたりといった、特殊な効果をかけます。

■ カーブ

画像のガンマを設定します。

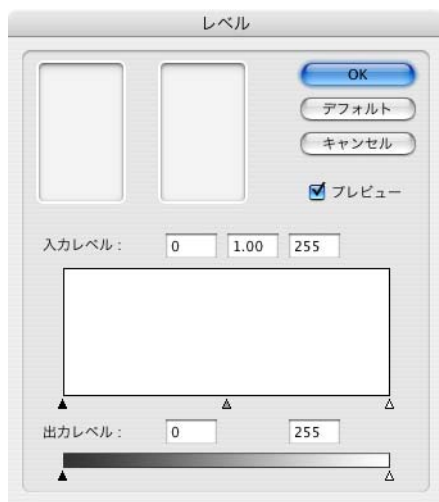
グラフの X 軸が入力レベル、Y 軸が出力レベルを表します。

選択肢には「リセット」、「値入力」、「折れ線」、「曲線」があります。

次の 3 つの入力コントロールがあります。

- スクロールバー
- 編集領域
- 折れ線または曲線上の任意の点を直接ドラッグ

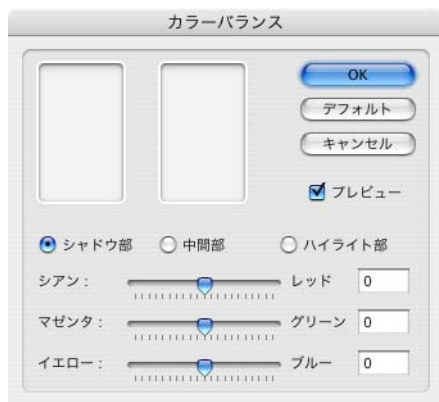
この機能により、画像自体の解像度を変更せずに、画像の概観を明るくしたり暗くしたりできます。

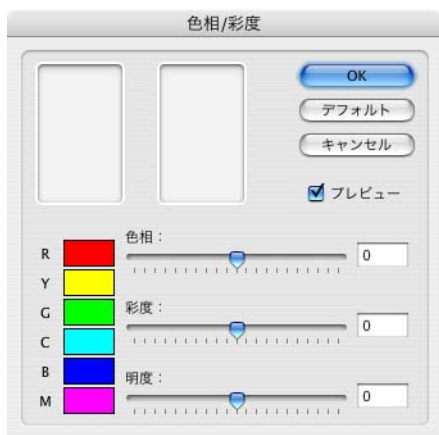
■ レベル

ガンマ値を設定したり、シャドウ部やハイライト部を増やしたり、シャドウ値を大きくしたり、ハイライト値を小さくしたりします。

X 軸は縮尺比を、Y 軸はピクセル値を表します。

スキャン画像のシャドウ値、ガンマ値、ハイライト値は、X 軸のすぐ下にある三角形のポインタをドラッグして調整できます。

明るさの範囲は出力レベルで調整します。

■ カラーバランス

シャドウ部、中間部、ハイライト部の RGB 値を微調整します。

■ 色相／彩度

画像の明度に加えて、色相、彩度を設定します。

トラブルシューティング

症状	対応・処置
プリセットで保存した機能が反映されない。	プリンタの機能によっては、プリセットでは保存されません。
プリンタがハングアップする。	OS の不具合により、用紙サイズと用紙種類の組合せが禁止できません。正しくない組合せで印刷したとき、プリンタがハングアップします。用紙サイズと用紙種類は、正しい組合せで印刷してください。
Bonjour でプリンタが検出できない。	PageScope Web Connection の管理者モードで、［ネットワーク］タブ →［Bonjour］メニュー →［Bonjour］をチェックしてください。
プリンタドライバのバージョンを確認したい。	Mac OS X 10.4 の場合 : 「プリンタ設定ユーティリティ」よりプリンタを選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。プリンタ情報画面のポップアップメニューから「名前と場所」を選択します。
他社製のプリンタから切り替えたとき、画面の表示がおかしい。	一旦プリント画面を閉じ、開き直してください。
カスタム用紙サイズが、設定した値と違う。	単位変換をする時の四捨五入誤差に関する OS の不具合により、カスタム用紙サイズで設定した値が、微妙に変わってしまうことがあります。（例 : 14.70 cm → 14.69 cm）
2-up 印刷時に用紙の中央に印刷されない。	OS の不具合により、以下のサイズで 2-up 印刷を行ったときは、用紙の中央に印刷されません。リーガル、レタープラス、フールスキャップ、ガバメントリーガル、ステートメント、Folio
N-up 印刷を複数部行ったとき、「丁合い」を指定していると、連続して印刷される。	N-up 印刷を複数部行うときは、「丁合い」を指定しないでください。
Acrobat Reader からの印刷時、「丁合い」が正しく機能しなかったり、印刷途中でジョブがキャンセルされたりする。	Acrobat Reader で印刷に不具合が出る場合は、OS に付属の「プレビュー」で印刷してください。

2

LinkMagic の使い方

LinkMagic について

本機に接続されたコンピュータに LinkMagic をインストールすることにより、コンピュータから以下の操作を行うことができます。

- スキャンした画像をファイルに保存する
- スキャンした画像をクリップボードに保存する
- スキャンした画像をメールに添付する
- スキャンした画像を印刷する
- よく使うソフトウェアを登録する

LinkMagic の動作環境

以降の説明では、スキャナドライバを TWAIN ドライバと表現することがあります。

LinkMagic のインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

OS	Windows 2000 Professional (SP4 以降) Windows 2000 Server (SP3 以降) Windows XP Home Edition (SP2 以降) Windows XP Professional (SP2 以降) Windows Server 2003 Standard Edition Windows Vista
対応メールソフトウェア	Microsoft Outlook Express ver.6.0 Microsoft Outlook 2000/XP/2003/2007 EUDORA 7J Netscape Messenger 7.1 AL-Mail32 1.13a Windows メール ver.6.0
対応言語	日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、チェコ語、スロバキア語、ハンガリー語、ポーランド語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語

お使いのコンピュータに、本機のプリンタドライバと TWAIN ドライバがインストールされている必要があります。

LinkMagic をご使用になる前に

LinkMagic をご使用になる前に、本機とコンピュータを USB ケーブルで接続し、コンピュータに LinkMagic をインストールする必要があります。

1 USB ケーブルを使用して、コンピュータと本機を接続します。

2 コンピュータにスキャナドライバとプリンタドライバをインストールします。

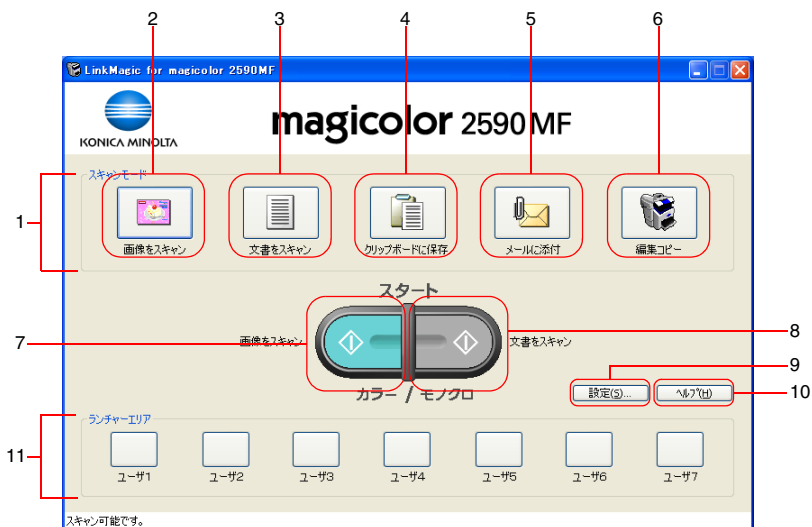
3 コンピュータに LinkMagic をインストールします。

LinkMagic のインストールについては、「magicolor 2590MF インストレーションガイド」をごらんください。

LinkMagic の起動

LinkMagic は、コンピュータが起動したときに自動的に起動するように設定されています。

LinkMagic が起動していると、コンピュータのタスクトレイに以下のアイコンが表示されます。

LinkMagic 画面

No.	名前	説明
1	スキャンモードエリア	LinkMagic の各機能が登録されているボタンです。
2	［画像をスキャン］ボタン	本機でスキャンした画像を、コンピュータにファイルとして保存します。また、あらかじめ指定したソフトウェアを起動することもできます。 クリックすると、「画像をスキャン」画面が開きます。（「スキャンした画像をファイルに保存する」（p.73））
3	［文書をスキャン］ボタン	本機でスキャンした画像を、コンピュータにファイルとして保存します。また、あらかじめ指定したソフトウェアを起動することもできます。 クリックすると、「文書をスキャン」画面が開きます。（「スキャンした画像をファイルに保存する」（p.73））

No.	名前	説明
4	［クリップボードに保存］ボタン	本機でスキャンした画像を、コンピュータのクリップボードに保存します。 クリックすると、「クリップボードに保存」画面が開きます。（「スキャンした画像をクリップボードに保存する」（p.77））
5	［メールに添付］ボタン	本機でスキャンした画像をコンピュータにファイルとして保存し、メールに添付します。 クリックすると、「メールに添付」画面が開きます。（「スキャンした画像をメールに添付する」（p.82））
6	［編集コピー］ボタン	本機でスキャンした画像をプリンタから印刷します。 クリックすると、「編集コピー」画面が開きます。（「スキャンした画像を印刷する」（p.88））
7	［スタート（カラー）］キーへのリンク	スキャンモードエリアの各機能を、本機の［スタート（カラー）］キーに割り当てます。 本機の［スタート（カラー）］キーを押すと、割り当てられた機能を実行します。
8	［スタート（モノクロ）］キーへのリンク	スキャンモードエリアの各機能を、本機の［スタート（モノクロ）］キーに割り当てます。 本機の［スタート（モノクロ）］キーを押すと、割り当てられた機能を実行します。
9	［設定］ボタン	クリックすると、設定画面を表示します。（「設定画面について」（p.93））
10	［ヘルプ］ボタン	クリックすると、ヘルプを表示します。
11	ランチャーエリア	よく使うソフトウェアを登録します。 ボタンをクリックすると、登録されたソフトウェアが起動します。（「よく使うソフトウェアを登録する」（p.91））

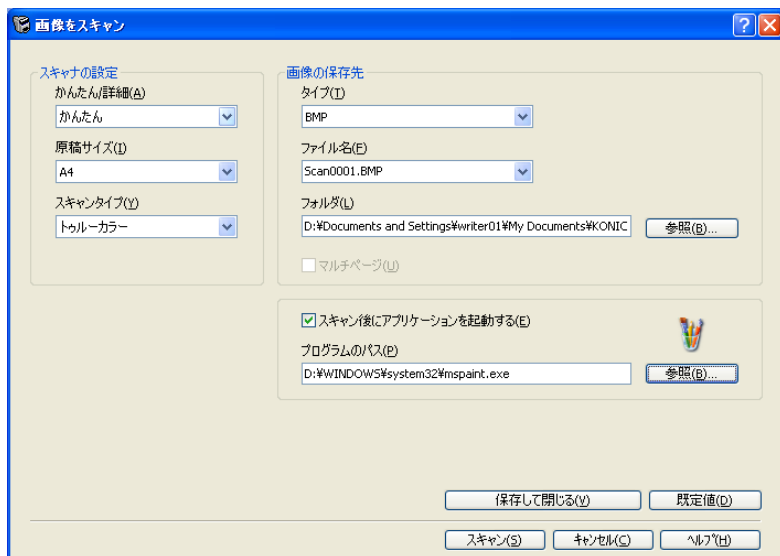
LinkMagic の使い方

スキャンした画像をファイルに保存する

本機でスキャンした画像を、コンピュータにファイルとして保存します。また、あらかじめ指定したソフトウェアを起動することもできます。

画像をスキャン画面または文書をスキャン画面の設定項目の詳細は、「画像をスキャン / 文書をスキャン画面の詳細」（p.75）をごらんください。

1 メイン画面のスキャンモードエリアから、「画像をスキャン」または「文書をスキャン」ボタンをクリックします。

画像をスキャン画面または文書をスキャン画面が表示されます。

2 「スキャナの設定」エリアの「かんたん / 詳細」リストから、スキャンの設定方法を選択します。

– 「かんたん」を選択すると、基本的な設定でスキャンします。「スキャナの設定」エリアの「原稿サイズ」から原稿のサイズを、「スキャンタイプ」から原稿のカラータイプを、それぞれ選択します。

– 「詳細」を選択すると、TWAIN ドライバの画面が表示され、詳細な設定を行えます。

TWAIN ドライバで設定できる項目の詳細については、プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイドをごらんください。

3 「画像の保存先」エリアで、スキャンした画像を保存する方法を設定します。

「詳細」を選択すると TWAIN ドライバが起動しますが、「画像をスキャン」または「文書をスキャン」ダイアログをクリックすれば、画像の保存先などの設定を変更できます。

4 画像をスキャンした後にソフトウェアを起動し、スキャンした画像を表示する場合は、「スキャン後にアプリケーションを起動する」にチェックをつけ、起動するソフトウェアを指定します。

「タイプ」リストで指定したファイル形式に対応しているソフトウェアを指定してください。

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。

スキャンが開始され、指定した場所に画像が保存されます。

画像をスキャン / 文書をスキャン画面の詳細

名前		説明
「スキャナの設定」エリア		画像のスキャン方法を設定します。
	「かんたん / 詳細」リスト	設定方法を選択します。 「かんたん」を選択すると、「原稿サイズ」と「スキャンタイプ」リストで基本的な設定を行います。 「詳細」を選択すると、TWAIN ドライバの画面が表示され、より詳細に設定できます。 「かんたん」を選択した場合の解像度は、300dpi です。 設定値：かんたん、詳細 初期値：かんたん
	「原稿サイズ」リスト	原稿のサイズを選択します。「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択すると有効になります。 「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示され、新しい用紙サイズの設定を追加できます。 設定値： A4、B5、A5、リーガル、レター、カスタムサイズ 初期値： A4

名前		説明
	「スキャンタイプ」リスト	原稿のカラータイプを選択します。「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択すると有効になります。 設定値：白黒、グレー、トゥルーカラー 初期値： - 画像をスキャンの場合：トゥルーカラー - 文書をスキャンの場合：白黒
「画像の保存先」エリア		スキャンした画像の保存方法を設定します。
	「タイプ」リスト	スキャンした画像のファイル形式を選択します。 設定値：BMP 初期値：BMP、JPEG、PDF、TIFF
	「ファイル名」リスト	保存するスキャン画像のファイル名を、連番をつけて指定します。 新しくファイル名を指定することも、使用したことのあるファイル名をリストから選択することもできます。 指定したファイル名の末尾が数字でない場合は、「0001」が自動で追加されます。 指定したファイル名に、LinkMagic が対応しているファイル形式の拡張子をつけると、自動的にそのファイル形式で保存されます。 範囲： 255 文字以下 初期値： [Scan0001]+ 拡張子
	「フォルダ」テキストボックス	スキャンした画像を保存するフォルダ名を指定します。［参照］をクリックすると、フォルダの参照画面が表示され、コンピュータのフォルダを参照できます。 範囲： ファイル名を含めて 255 文字まで 初期値： ¥Documents and Setting¥［ログインユーザ名］¥My Documents¥KONICA MINOLTA LinkMagic for magicolor 2590MF¥MyData

名前	説明
「マルチページ」チェックボックス	チェックすると、ADF から連続で画像をスキャンした場合、マルチページ形式でファイルに保存します。 「タイプ」リストで「TIFF」または「PDF」を選択した場合に有効です。 初期値：（チェック済み）
「スキャン後にアプリケーションを起動する」チェックボックス	チェックをつけると、画像をスキャンした後に、指定したソフトウェアを起動して、スキャンした画像ファイルを開きます。 初期値：（チェックなし）
「プログラムのパス」テキストボックス	スキャンした画像ファイルを開くソフトウェアを指定します。［参照］をクリックすると、コンピュータにあるソフトウェアを参照できます。 範囲： 259 文字以内 初期値：（空白）
［保存して閉じる］ボタン	変更された設定を保存して、この画面を閉じます。
［既定値］ボタン	画面の設定項目を、すべて初期値に戻します。
［スキャン］ボタン	「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択したときにクリックすると、画像のスキャンを開始します。
［キャンセル］ボタン	変更された設定を保存せずに、この画面を閉じます。
［ヘルプ］ボタン	ヘルプを表示します。

スキャンした画像をクリップボードに保存する

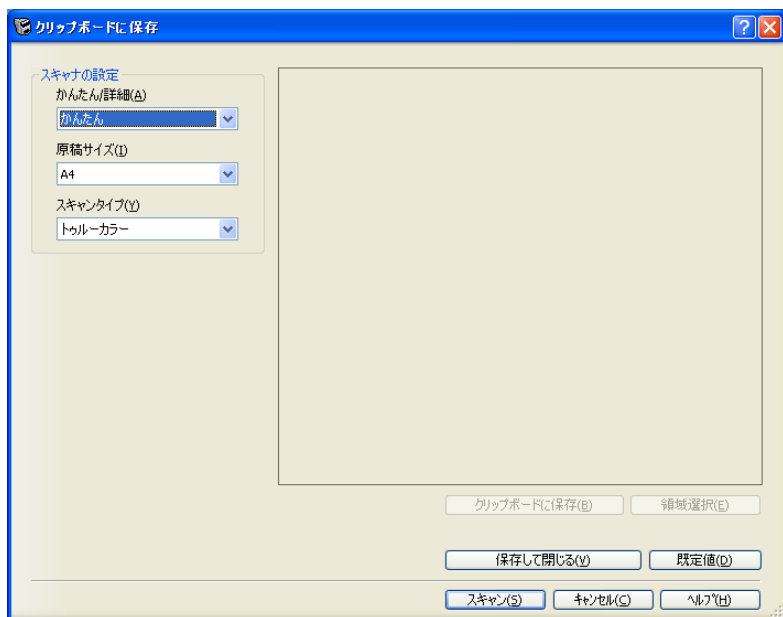
本機でスキャンした画像を、クリップボードにコピーします。

範囲を選択してコピーすることもできます。

クリップボードに保存画面の設定項目の詳細は、「クリップボードに保存画面の詳細」（p.80）をごらんください。

ここでは ADF を使用した連続読み込みはできません。複数ページ読み込んだ場合は、最初の 1 ページのみプレビュー領域に表示されます。

1 メイン画面のスキャンモードエリアから、［クリップボードに保存］ボタンをクリックします。

クリップボードに保存画面が表示されます。

2 「スキャナの設定」エリアの「かんたん / 詳細」リストから、スキャンの方法を選択します。

- 「かんたん」を選択すると、基本的な設定でスキャンします。「スキャナの設定」エリアの「原稿サイズ」から原稿のサイズを、「スキャンタイプ」から原稿のカラータイプを、それぞれ選択します。
- 「詳細」を選択すると、TWAIN ドライバの画面が表示され、詳細な設定を行えます。

TWAIN ドライバで設定できる項目の詳細については、プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイドをごらんください。

3 ［スキャン］をクリックします。

スキャンが開始され、画面右側に画像が表示されます。

4 コピーする範囲を指定する場合は、［領域選択］をクリックして、コピーする範囲をマウスで指定します。

範囲を指定したあと、［領域削除］をクリックすると、範囲選択を解除できます。

5 ［クリップボードに保存］をクリックします。

スキャンした画像が、クリップボードにコピーされます。

クリップボードに保存画面の詳細

名前	説明
「スキャナの設定」エリア	画像のスキャン方法を設定します。
「かんたん / 詳細」リスト	設定方法を選択します。 「かんたん」を選択すると、「原稿サイズ」と「スキャンタイプ」リストで基本的な設定を行います。 「詳細」を選択すると、TWAIN ドライバの画面が表示され、より詳細に設定できます。 「かんたん」を選択した場合の解像度は、150dpi です。 設定値 : かんたん、詳細 初期値 : かんたん

名前		説明
	「原稿サイズ」リスト	原稿のサイズを選択します。「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択すると有効になります。「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示され、新しい用紙サイズの設定を追加できます。 設定値：A4、B5、A5、リーガル、レター、カスタムサイズ 初期値：A4
	「スキャンタイプ」リスト	原稿のカラータイプを選択します。「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択すると有効になります。 設定値：白黒、グレー、トゥルーカラー 初期値：トゥルーカラー
プレビューエリア		画面右に、スキャンした画像が表示されます。
[クリップボードに保存] ボタン		プレビューエリアに表示されている画像を、クリップボードにコピーします。 範囲が指定されている場合は、その範囲だけがコピーされます。
[領域選択] ボタン / [領域削除] ボタン		[領域選択]：コピーする範囲をプレビューエリアで指定できます。 [領域選択] ボタンをクリックすると [領域削除] ボタンに変わります。 [領域削除]：選択範囲を解除します。
[保存して閉じる] ボタン		変更された設定を保存して、この画面を閉じます。
[既定値] ボタン		画面の設定項目を、すべて初期値に戻します。
[スキャン] ボタン		「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択したときにクリックすると、画像のスキャンを開始します。
[キャンセル] ボタン		変更された設定を保存せずに、この画面を閉じます。
[ヘルプ] ボタン		ヘルプを表示します。

スキャンした画像をメールに添付する

本機でスキャンした画像をコンピュータにファイルとして保存し、メールに添付します。

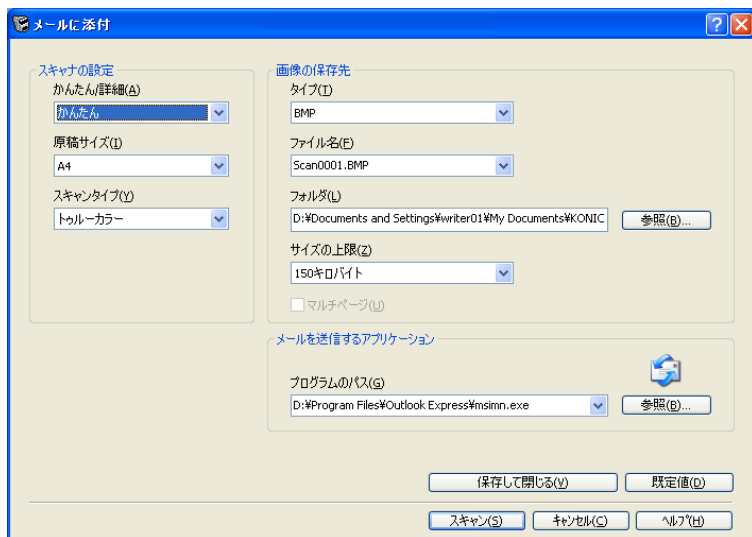
以下のメールソフトに対応しています。

- Microsoft Outlook Express ver.6.0
- Microsoft Outlook 2000/XP/2003/2007
- EUDORA 7J
- AL-Mail32 1.13a
- Netscape Messenger 7.1
- Windows メール ver.6.0

一回の操作で、1 ファイルのみメールに添付できます。ADF を使用して複数の原稿をスキャンする場合、「タイプ」で「BMP」または「JPEG」が選択されていると、最初のページのみメールに添付します。
「タイプ」で「PDF」または「TIFF」が選択されている場合は、複数ページのファイルを添付します。

メールに添付画面の設定項目の詳細は、「メールに添付画面の詳細」をごらんください。

1 メイン画面のスキャンモードエリアから、「メールに添付」ボタンをクリックします。

メールに添付画面が表示されます。

2 「スキャナの設定」エリアの「かんたん / 詳細」リストから、スキャンの方法を選択します。

- 「かんたん」を選択すると、基本的な設定でスキャンします。「スキャナの設定」エリアの「原稿サイズ」から原稿のサイズを、「スキャンタイプ」から原稿のカラータイプを、それぞれ選択します。
- 「詳細」を選択すると、TWAIN ドライバの画面が表示され、詳細な設定を行えます。

TWAIN ドライバで設定できる項目の詳細については、プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイドをごらんください。

3 「画像の保存先」エリアで、スキャンした画像を保存する方法を設定します。

「詳細」を選択すると TWAIN ドライバが起動しますが、「メールに添付」ダイアログをクリックすれば、画像の保存先などの設定を変更できます。

4 「サイズの上限」リストで、メールに添付する画像サイズの上限を設定します。

5 「メールを送信するアプリケーション」エリアで、画像を添付して送信するソフトウェアを指定します。

「メールを送信するアプリケーション」で自動選択されているメールソフトが、通常使用しているメールソフトかどうか、確認してください。

6 ［スキャン］ボタンをクリックします。

スキャンが開始され、スキャンされた画像が添付された状態で、新規メールが作成されます。

スキャンした画像のファイルサイズが、「サイズの上限」で設定した値より大きい場合、ファイルサイズが大きいことを通知するダイアログボックスが表示されます。詳細モードで再度スキャンを行うか、そのまま送信するかを選択できます。

7 件名や本文などを入力して、メールを送信します。

メールに添付画面の詳細

名前		説明
「スキャナの設定」エリア		画像のスキャン方法を設定します。
	「かんたん / 詳細」リスト	設定方法を選択します。 「かんたん」を選択すると、「原稿サイズ」と「スキャンタイプ」リストで基本的な設定を行います。「詳細」を選択すると、TWAIN ドライバの画面が表示され、より詳細に設定できます。 「かんたん」を選択した場合の解像度は、150dpi です。 「サイズの上限」で設定した値に応じて、解像度が自動的に変更されます。 設定値：かんたん、詳細 初期値：かんたん

名前		説明
	「原稿サイズ」リスト	原稿のサイズを選択します。「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択すると有効になります。「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示され、新しい用紙サイズの設定を追加できます。 設定値： A4、B5、A5、リーガル、レター、カスタムサイズ 初期値： A4
	「スキャンタイプ」リスト	原稿のカラータイプを選択します。「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択すると有効になります。 設定値：白黒、グレー、トゥルーカラー 初期値：トゥルーカラー
「画像の保存先」エリア		スキャンした画像の保存方法を設定します。
	「タイプ」リスト	スキャンした画像のファイル形式を選択します。 設定値：BMP、JPEG、PDF、TIFF 初期値：BMP
	「ファイル名」リスト	保存するスキャン画像のファイル名を、連番をつけて指定します。 新しくファイル名を指定することも、使用したことのあるファイル名をリストから選択することもできます。 指定したファイル名の末尾が数字でない場合は、「0001」が自動で追加されます。 指定したファイル名に、LinkMagic が対応しているファイル形式の拡張子をつけると、自動的にそのファイル形式で保存されます。 範囲： 255 文字以下 初期値： [Scan0001]+ 拡張子

名前		説明
	「フォルダ」テキストボックス	スキャンした画像を保存するフォルダ名を指定します。 ［参照］をクリックすると、フォルダの参照画面が表示され、コンピュータのフォルダを参照できます。 範囲：　ファイル名を含めて 255 文字まで 初期値：¥Documents and Settings¥［ログインユーザ名］¥My Documents¥KONICA MINOLTA LinkMagic for magicolor 2590MF¥MyData
	「サイズの上限」リスト	メールに添付する画像ファイルの上限サイズを指定します。 「カスタム」を選択すると、「カスタムサイズ設定［サイズの上限］」画面が表示され、新しい上限サイズの選択肢を追加できます。 「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択した場合、画像ファイルのサイズがここで指定した上限サイズを超えないように、自動で解像度が下げられます。 設定値：75 キロバイト、150 キロバイト、500 キロバイト、1 メガバイト、3 メガバイト、無し、カスタム 初期値：150 キロバイト
	「マルチページ」チェックボックス	チェックすると、ADF から連続で画像をスキャンした場合、マルチページ形式でファイルに保存します。 「タイプ」リストで「TIFF」または「PDF」を選択した場合に有効です。 初期値：（チェック済み）
「メールを送信するアプリケーション」エリア		画像を添付するメールソフトウェアを指定します。

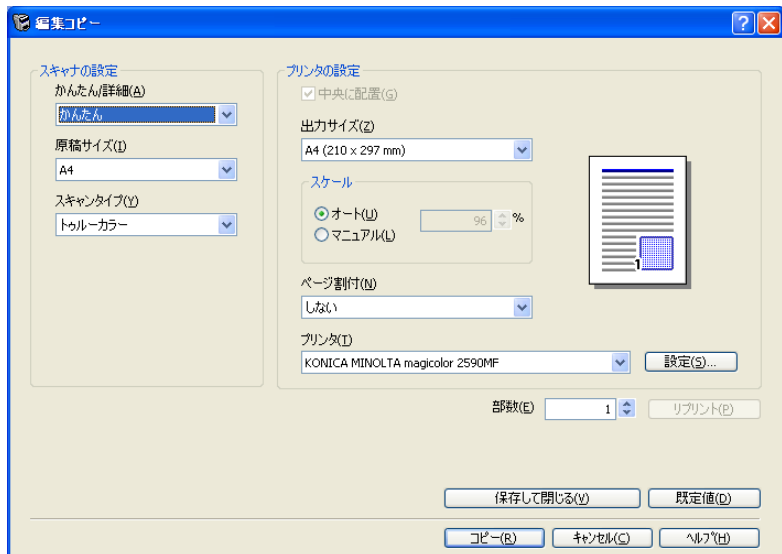
名前	説明
「プログラムのパス」リストボックス	メールソフトウェアをリストから選択します。 コンピュータにインストールされているメールソフトが自動的に検索され、リストに追加されています。 ［参照］をクリックすると、コンピュータにあるソフトウェアを参照できます。 メールソフトは自動的に（32bit アプリケーションが優先的に）検出されます。普段利用しているメールソフトか確認してください。 Windows バンドル製品で、64bit 版メールソフトをご利用になりたい場合は、メールに添付を行う前に、利用したいメールソフトを起動しておいてください。 範囲： 259 文字以下 初期値： 最初に検索されたメールソフトウェア
［保存して閉じる］ボタン	変更された設定を保存して、この画面を閉じます。
［既定値］ボタン	画面の設定項目を、すべて初期値に戻します。
［スキャン］ボタン	「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択したときにクリックすると、画像のスキャンを開始します。
［キャンセル］ボタン	変更された設定を保存せずに、この画面を閉じます。
［ヘルプ］ボタン	ヘルプを表示します。

スキャンした画像を印刷する

本機でスキャンした画像を、プリンタから印刷します。

編集コピー画面の設定項目の詳細は、「編集コピー画面の詳細」をごらんください。

1 メイン画面のスキャンモードエリアから、[編集コピー] ボタンをクリックします。

編集コピー画面が表示されます。

2 「スキャナの設定」エリアの「かんたん / 詳細」リストから、スキャンの方法を選択します。

– 「かんたん」を選択すると、基本的な設定でスキャンします。「スキャナの設定」エリアの「原稿サイズ」から原稿のサイズを、「スキャンタイプ」から原稿のカラータイプを、それぞれ選択します。

– 「詳細」を選択すると、TWAIN ドライバの画面が表示され、詳細な設定を行えます。

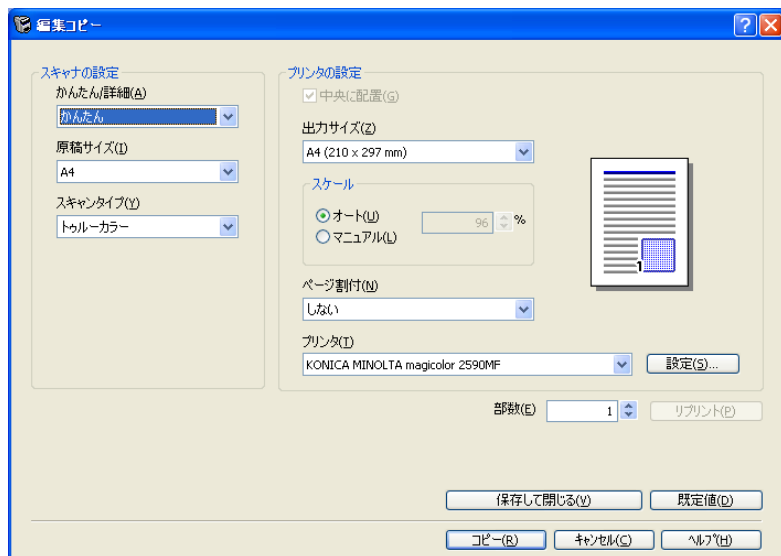
TWAIN ドライバで設定できる項目の詳細については、プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイドをごらんください。

3 「プリンタの設定」エリアで、スキャンした画像を印刷する方法を設定します。

「詳細」を選択すると TWAIN ドライバが起動しますが、「編集コピー」ダイアログをクリックすれば、「プリンタの設定」の設定を変更できます。

4 ［コピー］ボタンをクリックします。

スキャンが開始され、指定したプリンタから画像が印刷されます。

編集コピー画面の詳細

名前		説明
「スキャナの設定」エリア		読画像のスキャン方法を設定します
	「かんたん / 詳細」リスト	設定方法を選択します。 「かんたん」を選択すると、「原稿サイズ」と「スキャンタイプ」リストで基本的な設定を行います。 「詳細」を選択すると、TWAIN ドライバの画面が表示され、より詳細に設定できます。 「かんたん」を選択した場合の解像度は、300dpi です。 設定値：かんたん、詳細 初期値：かんたん

名前		説明
	「原稿サイズ」リスト	原稿のサイズを選択します。「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択すると有効になります。「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示され、新しい用紙サイズの設定を追加できます。 設定値： A4、B5、A5、リーガル、レター、カスタムサイズ 初期値： A4
	「スキャンタイプ」リスト	原稿のカラータイプを選択します。「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択すると有効になります。 設定値：白黒、グレー、トゥルーカラー 初期値：トゥルーカラー
「プリンタの設定」エリア		スキャンした画像を印刷する方法を設定します。
	「中央に配置」チェックボックス	「スケール」で「マニュアル」を選択した場合にチェックをつけると、印刷可能範囲の中央に画像を配置して印刷します。 初期値：（チェック済み）
	「出力サイズ」リスト	印刷する用紙のサイズを指定します。 印刷する用紙の方向は変更できません。常に縦方向で印刷されます。 設定値： 選択したプリンタで出力可能な用紙サイズ 初期値： 選択したプリンタで設定された用紙
	「スケール」エリア	印刷する画像を拡大または縮小する方法を設定します。 「オート」を選択すると、「出力サイズ」で選択した用紙に合わせて、画像を拡大または縮小します。 「マニュアル」を選択すると、拡大または縮小する倍率を指定できます。 設定値：オート、マニュアル 初期値：オート
	「ページ割付」リスト	複数ページ分の画像を、一枚の用紙に割り付けて印刷できます。 設定値：しない、2 in 1、4 in 1 初期値：しない
	「プリンタ」リスト	印刷するプリンタを指定します。 設定値：コンピュータに接続されているプリンタ

名前	説明
「部数」テキストボックス	印刷する部数を指定します。
［リプリント］ボタン	直前に印刷した画像を、もう一度印刷できます。クリックすると、リプリント画面が表示され、印刷する部数を指定できます。 一度編集コピー画面を閉じると、［リプリント］ボタンは無効になります。
［保存して閉じる］ボタン	変更された設定を保存して、この画面を閉じます。
［既定値］ボタン	画面の設定項目を、すべて初期値に戻します。
［スキャン］ボタン	「かんたん / 詳細」リストで「かんたん」を選択したときにクリックすると、画像のスキャンを開始します。
［キャンセル］ボタン	変更された設定を保存せずに、この画面を閉じます。
［ヘルプ］ボタン	ヘルプを表示します。

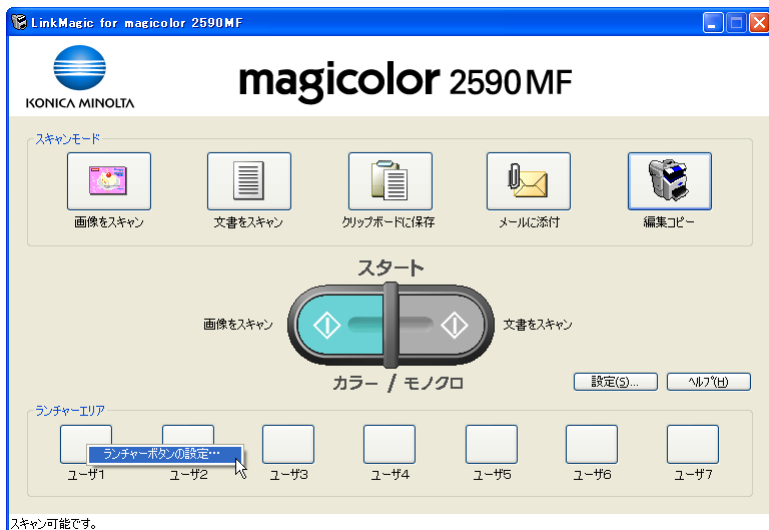
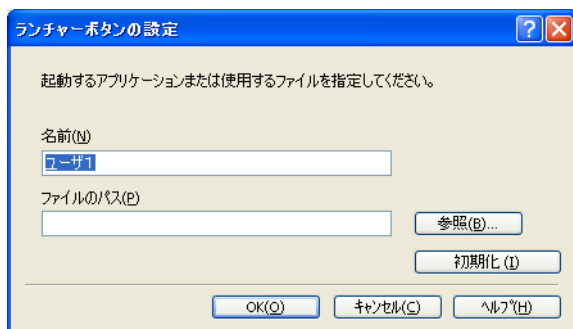
よく使うソフトウェアを登録する

よく使うソフトウェアをランチャーボタンに登録できます。ランチャーボタンをクリックすると、登録したソフトウェアが起動します。

以下のソフトウェアがコンピュータにインストールされている場合、ランチャーボタンに自動的に登録されます。

- Microsoft Word 2000/XP/2003/2007
- Microsoft Excel 2000/XP/2003/2007
- Microsoft PowerPoint 2000/XP/2003/2007
- PaperPort 10 SE
- Adobe Photoshop CS2

ソフトウェアをランチャーボタンに登録する方法

1 ランチャーエリアのボタンの上で右クリックし、「ランチャーボタンの設定」を選択します。

ランチャーボタンの設定画面が表示されます。

2 「名前」テキストボックスに、ボタンの名前を入力します。

半角 30 文字（全角 15 文字）まで入力できます。

3 「ファイルのパス」テキストボックスに、登録するソフトウェアの場所を入力します。

［参照］をクリックして、コンピュータのフォルダを参照できます。

259 文字まで入力できます。

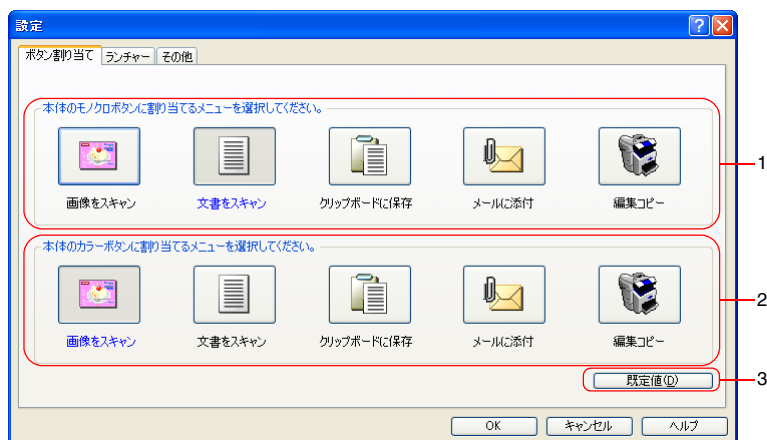
4 ［OK］をクリックします。

ソフトウェアがランチャーボタンに登録されます。

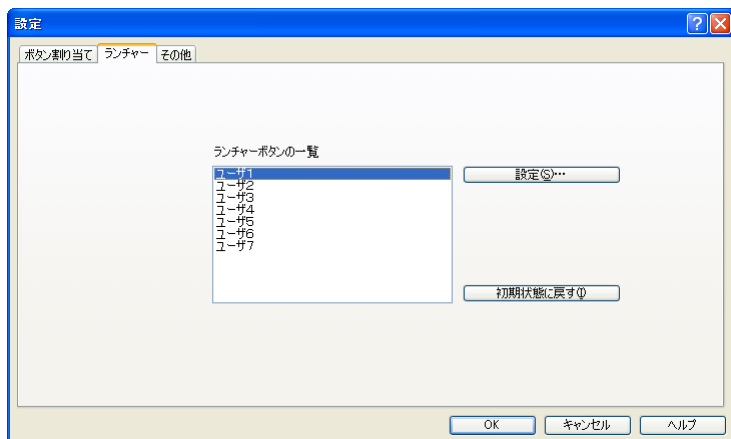
「初期化」をクリックすると、すべての設定が初期値に戻ります。

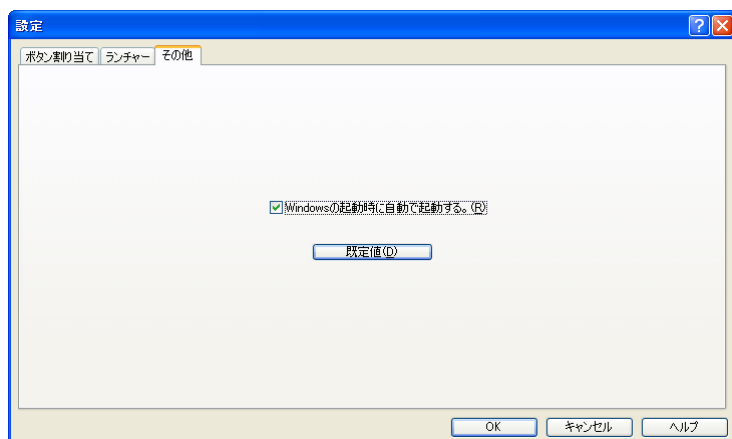
設定画面について

メイン画面の［設定］をクリックすると、設定画面が表示されます。

「ボタン割り当て」タブ

No.	名前	説明
1	［スタート（モノクロ）］キーへの割り当て	本機の［スタート（モノクロ）］キーに割り当てる機能のボタンを選択します。 初期値：文書をスキャン
2	［スタート（カラー）］キーへの割り当て	本機の［スタート（カラー）］キーに割り当てる機能のボタンを選択します。 初期値：画像をスキャン
3	［既定値］ボタン	クリックすると、設定が初期値に戻ります。

同じ機能を、［スタート（カラー）］キーと［スタート（モノクロ）］キーの両方に割り当てることはできません。

「ランチャー」タブ

名前	説明
［設定］ボタン	クリックすると、「ランチャーボタンの一覧」で選択されているボタンの設定画面を開きます。（「よく使うソフトウェアを登録する」（p.91））
［初期状態に戻す］ボタン	すべての設定を、初期値に戻します。

「その他」タブ

名前	説明
「Windows の起動時に自動で起動する。」チェックボックス	チェックをつけると、Windows が起動したときに LinkMagic が自動的に起動します。 初期値：（チェック済み）
「既定値」ボタン	設定を初期値に戻します。

LinkMagic のアンインストール

LinkMagic は、以下のいずれかの方法でアンインストールできます。

- 「プログラムの追加と削除」（Windows 2000 の場合は「アプリケーションの追加と削除」）を使う
- magicolor 2590MF Applications CD-ROM の「LinkMagic」フォルダにある、setup.exe を再度実行する

3

Local Setup Utility（LSU）の使い方

Local Setup Utility（LSU）について

本機に接続されたコンピュータに Local Setup Utility（LSU）をインストールすることにより、コンピュータから以下の操作を行うことができます。

■ 本機のワンタッチダイアル、短縮ダイアル、グループダイアルの登録情報をコンピュータに保存

■ 本機のワンタッチダイアル、短縮ダイアル、グループダイアルの登録情報の変更

■ 本機の操作パネルメニューの設定

■ トータルカウンタの確認

■ 本機の設定リストの確認

LSU の動作環境

LSU のインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

OS	Windows 2000 Professional、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista
CPU	Pentium 2（400 MHz）以上の CPU
メモリ	OS が推奨するメモリ容量
ハードディスク空き容量	100MB 以上推奨
インターフェース	USB 2.0
ウェブブラウザ	Internet Explorer Ver 5.0 以降

USB ケーブルは、A タイプ（4 ピンオス）と B タイプ（4 ピンオス）のものを使用してください。また、USB ケーブルの長さが、3 m 以下のものを使用することをおすすめいたします。

LSU をご使用になる前に

LSU をご使用になる前に、本機とコンピュータを接続し、コンピュータに LSU をインストールする必要があります。

1 コンピュータと本機を接続します。

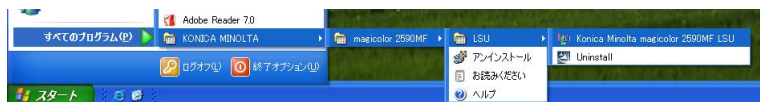
2 コンピュータにスキャナドライバとプリンタドライバをインストールします。

ドライバのインストールについては、「magicolor 2590MF インストレーションガイド」をごらんください。

3 コンピュータに LSU をインストールします。

LSU のインストールについては、「magicolor 2590MF インストレーションガイド」をごらんください。

LSU の起動

1 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」（Windows 2000 :「プログラム」）－「KONICA MINOLTA」－「magicolor 2590MF」－「LSU」－「Konica Minolta magicolor 2590MF LSU」をクリックします。LSU 画面が表示されます。

LSU 画面

No.	名前	説明
1	「マシンに接続」アイコン	LSU と本機を接続します。
2	「切断」アイコン	LSU と本機の接続を切断します。
3	「アップロード」アイコン	設定ファイルを本機に送信します。
4	「ダウンロード」アイコン	本機の設定をコンピュータに送信します。
5	「開く」アイコン	設定ファイルを開きます。
6	「上書き保存」アイコン	設定ファイルを上書きします。
7	「メニュー」アイコン	メニュー画面を表示します。
8	「+」アイコン	+ をクリックすると、本機のワンタッチダイアル、短縮ダイアル、グループダイアルを表示します。

LSU の操作方法

本機に接続する

1 をクリックします。

LSU と本機を接続すると、メイン画面上に「接続状態 : オンライン」と表示されます。

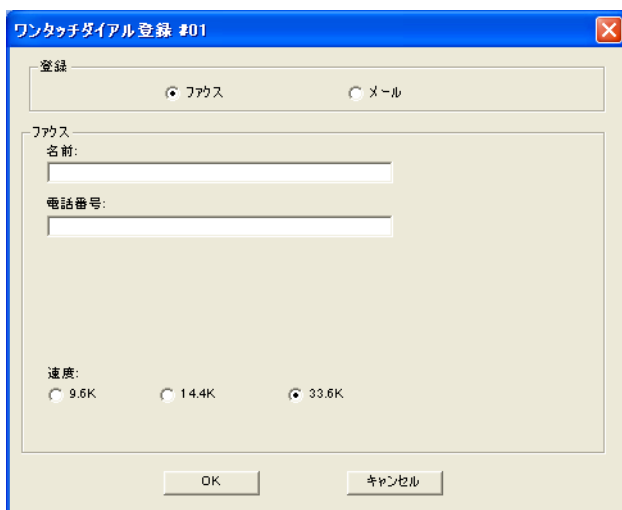
「マシン」メニューの「接続」を選択しても、LSU と本機を接続できます。

LSU で操作を行っているとき、本機の操作パネルから操作できません。

本機から登録内容をダウンロードする

1 をクリックします。

「マシン」メニューの「ダウンロード」を選択しても、本機の設定をダウンロードできます。

ワンタッチダイアルの登録

1 ⊞ をクリックし、「ワンタッチダイアル」をクリックします。

2 表示されたリストから、ワンタッチダイアルに登録したい番号を選択し、ダブルクリックします。

ワンタッチダイアルには最大で 9 の宛先を登録できます。

3 ワンタッチダイアル登録画面で、必要な項目を入力します。

入力できる文字は半角カタカナ、半角英数字のみです。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

ワンタッチダイアルの登録が完了します。

ワンタッチダイアルの編集

1 ⊞をクリックし、「ワンタッチダイアル」をクリックします。

2 表示されたリストから、編集したいワンタッチダイアル番号を選択し、ダブルクリックします。

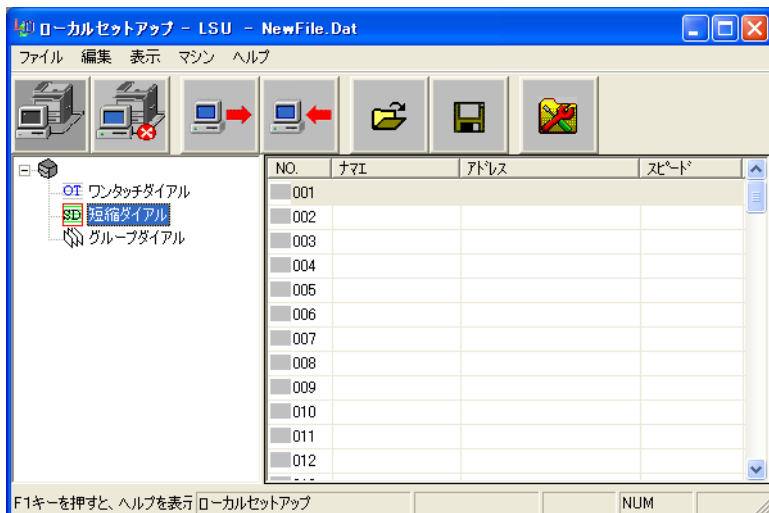
すでに登録されているワンタッチダイアルを選択し、登録内容を変更できます。

登録内容を編集するときに、「編集」メニューから「切り取り」、「コピー」、「貼り付け」、「削除」を選択できます。

短縮ダイアルの登録

1 [+] をクリックし、「短縮ダイアル」をクリックします。

2 表示されたリストから、短縮ダイアルに登録したい番号を選択し、ダブルクリックします。

短縮ダイアルには最大で 100 の宛先を登録できます。

3 短縮ダイアル登録画面で、必要な項目を入力します。

入力できる文字は半角カタカナ、半角英数字のみです。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

短縮ダイアルの登録が完了します。

短縮ダイアルの編集

1 ⊞ をクリックし、「短縮ダイアル」をクリックします。

2 表示されたリストから、編集したい短縮ダイアル番号を選択し、ダブルクリックします。

すでに登録されている短縮ダイアルを選択し、登録内容を変更できます。

登録内容を編集するときに、「編集」メニューから「切り取り」、「コピー」、「貼り付け」、「削除」を選択できます。

グループダイアルの登録

ワンタッチダイアルや短縮ダイアルを登録してから、グループダイアルを登録してください。

1 ⊞をクリックし、「グループダイアル」をクリックします。

2 表示されたリストから、グループダイアルに登録したい番号を選択し、ダブルクリックします。

グループダイアルには最大で 9 の宛先を登録できます。

3 グループダイアル登録画面で、グループ登録したいワンタッチダイアルや短縮ダイアル番号を選択し、>>または<<をクリックします。

4 グループ名を入力します。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

グループダイアルの登録が完了します。

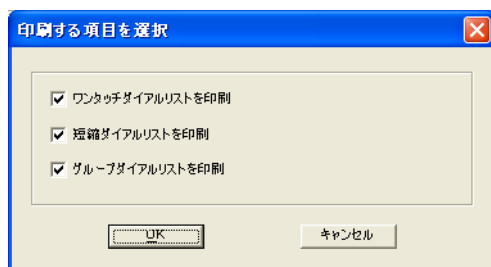
グループダイアルの編集

1 グループダイアルリストを表示し、編集したいグループダイアル番号をダブルクリックします。

すでに登録されているグループダイアルを選択し、登録内容を変更できます。

ワンタッチダイアル、短縮ダイアル、グループダイアルリストの印刷

1 「ファイル」メニューで、「印刷」をクリックします。

以下の画面が表示されます。

2 印刷したい項目のチェックボックスを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

設定内容をコンピュータに保存する

1 をクリックします。

「ファイル」メニューの「上書き保存」、「名前を付けて保存・・・」をクリックしても、コンピュータに設定内容を保存できます。

2 保存先を指定し、ファイル名を入力します。

3 「保存」ボタンをクリックします。

設定内容を本機に送信する

1 をクリックします。

「マシン」メニューの「アップロード」を選択しても、本機に設定内容をアップロードできます。

本機のメニューの設定を行う

本機の操作パネルから行う設定を、LSU のメニュー画面から設定できます。

1 をクリックします。

メニュー画面が表示されます。

「マシン」メニューの「メニュー」を選択しても、メニュー画面を開くことができます。

LSU で操作を行っているとき、本機の操作パネルから操作できません。

LSU のメニュー画面の詳しい設定内容は、「magicolor 2590MF プリンタ / コピー / スキャナ ユーザーズガイド」および「magicolor 2590MF ファクスユーザーズガイド」の操作パネルの設定メニューについての説明を参照してください。

「本体設定」タブ

項目	説明
オートリセット	本機を一定時間操作しない場合に、全ての設定をリセットするまでの時間を設定します。
スリープ時間	本機を一定時間操作しない場合に、節電モードに移行するまでの時間を設定します。
日付の形式	日付の形式を設定します。

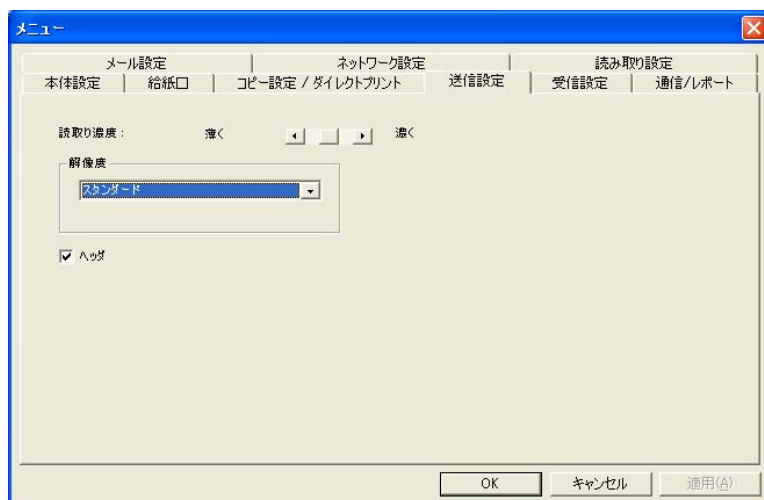
項目	説明
LCD コントラスト	操作パネルの明るさを設定します。
言語選択	操作パネルの表示言語を設定します。
ファクス PTT 設定	本機を設置している国が表示されます。
初期モード	電源オンした時やオートリセットした時の、本機のモードを設定します。
ランプオフ時間	何も操作が行われなかった場合に、スキャナユニットのランプをオフにするまでの時間を設定します。 「モード 1」に設定した場合は、本機が節電モードに移行するとランプがオフになります。 「モード 2」に設定した場合は、本機が節電モードに移行した 10 分後にランプがオフになります。
固定倍率変更	ズーム倍率のプリセットで使用する単位系を、インチまたはミリメートルのいずれかに設定します。
ブザー音量	キータッチ音やエラー発生時の警告音の音量を設定します。
Toner Near Empty	トナーの残りが少なくなると、メッセージが表示されます。 トナーの残りが少なくなった場合、メッセージを表示するか、しないかを設定します。 ｵﾝを設定すると、メッセージが表示されます。
Remote Monitor	リモートモニタを設定するかどうかを選択します。
トナーなし停止	トナーが無くなった時に、印刷、コピー、ファクスを中止するかどうか設定します。
自動継続	印刷中に用紙サイズエラーが起こった場合、そのまま印刷を継続するかどうか設定します。
階調補正	画像階調補正を行うかどうか設定します。

「給紙口」タブ

項目	説明
トレイ 1 用紙	トレイ 1 の用紙の種類と用紙サイズを設定します。
トレイ 2 用紙	トレイ 2 の用紙サイズを設定します。

「コピー設定 / ダイレクトプリント」タブ

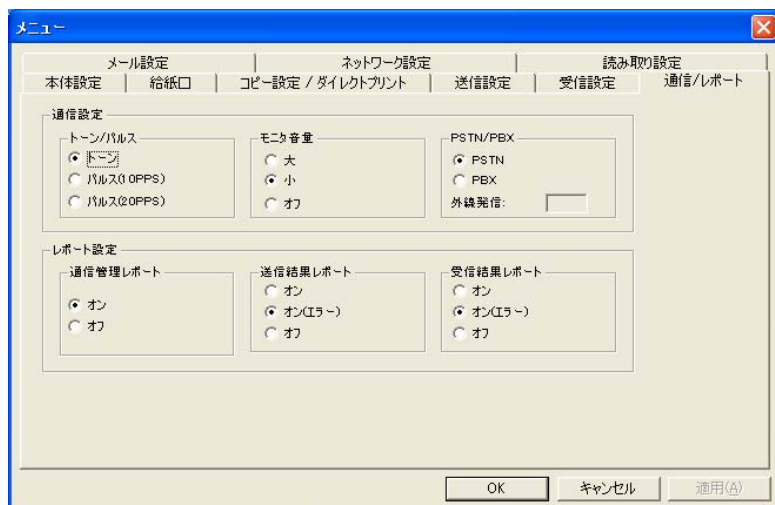
項目	説明
優先用紙	通常使用する給紙トレイを設定します。
モード	コピーする文書の種類を設定します。
濃度レベル（オート）	下地色の濃度を設定します。
濃度レベル （マニュアル）	コピー濃度を設定します。
部単位印刷	部単位印刷を行うかどうか設定します。
ダイレクトプリント	ダイレクトプリント時の用紙、品質設定を行います。
画質	印刷の解像度を設定します。

「送信設定」タブ

項目	説明
読み取り濃度	スキャン濃度を設定します。
解像度	スキャン解像度を設定します。
ヘッダ	送信する文書に本機の発信元情報（送信日時、送信者名、送信者ファクス番号、セッション番号、ページ番号）を印字するかどうか設定します。

「受信設定」タブ

「トレイ選択」ボタン

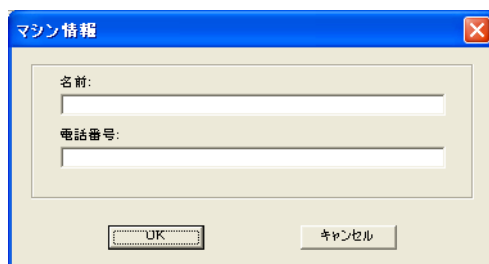
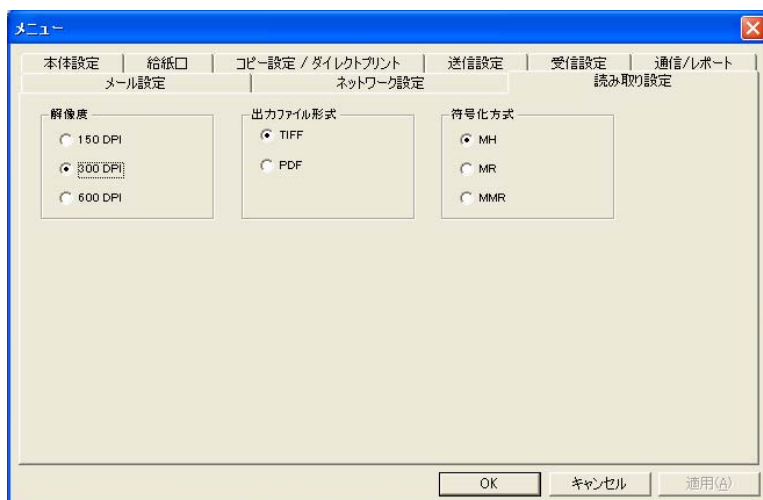
項目	説明
メモリ受信モード	機密文書の受信のため、メモリ受信するかしないかを設定します。メモリ受信モードをオンにすると、受信文書はメモリに蓄積され、指定した時間に出力されます。メモリ受信モードを設定するときに、パスワードの設定もできます。
縮小受信	本機の印刷用紙よりも長い文書を受信した場合に、縮小するか（オン）、分割するか（オフ）、破棄するか（切り取り）を選択します。
受信プリントモード	受信した文書を、受信を終えてから印刷するか（メモリ受信）、受信と同時に印刷するか（プリント受信）設定します。
受信モード	自動で受信するか、手動で受信するか設定します。
呼び出し回数	ファクス受信開始までの呼び出し音の回数を設定します。
フッター	受信した文書に受信情報（受信日時、相手先ファクス番号など）を印字するかどうか設定します。
トレイ選択	受信した文書を印刷する際の給紙トレイを選択します。

「通信 / レポート」タブ

項目	説明
トーン / パルス	お使いの電話回線のダイアル方法を設定します。
モニタ音量	回線モニタ音の音量を選択します。
PSTN/PBX	「PSTN」または「PBX」は、ご利用の環境に合わせて選択してください。 「PSTN」は、ご利用の環境に電話交換機などがない場合に選択します。 「PBX」は、ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合に選択します。
通信管理レポート	通信管理レポートを印刷するかどうか設定します。オンに設定すると、通信 60 件ごとに印刷されます。通信管理レポートで送受信の結果を確認できます。
送信結果レポート	送信後に送信結果レポートを印刷するか、送信エラー時のみ印刷するか、印刷しないか設定します。
受信結果レポート	受信後に受信結果レポートを印刷するか、受信エラー時のみ印刷するか、印刷しないか設定します。

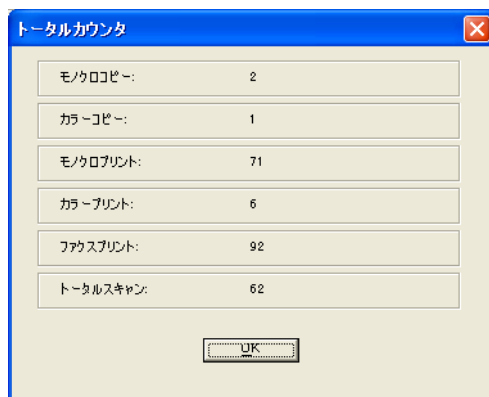
「メール設定」タブ

項目	説明
送信者名	メールの送信者名を設定します。
メールアドレス	メール送信者のメールアドレスを設定します。
SMTP サーバアドレス	SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
SMTP ポート番号	SMTP サーバと通信時に使用するポート番号を設定します。
SMTP タイムアウト	SMTP サーバの接続タイムアウトを設定します。
初期タイトル	メッセージの件名を設定します。
テキスト挿入	メールの本文にあらかじめ指定されたテキストを入れるかどうか設定します。

「ネットワーク設定」タブ

項目	説明
自動取得 / 固定	本機の IP アドレスを自動で取得するか、手動で設定するか選択します。
IP アドレス	自動取得 / 固定で固定を選択した場合、本機の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	自動取得 / 固定で固定を選択した場合、本機のサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	自動取得 / 固定で固定を選択した場合、本機のゲートウェイを設定します。
DNS 設定	DNS サーバを有効にするかどうか設定します。有効に設定した場合、DNS サーバの IP アドレスを指定します。
DDNS 設定	DDNS 機能を使用するかどうか設定します。

「読み取り設定」タブ

項目	説明
解像度	スキャン解像度を設定します。
出力ファイル形式	スキャンした文書の出力ファイル形式を設定します。
符号化方式	スキャンした文書の符号化方式を設定します。

マシン情報の設定

1 「マシン」メニューより、「プロパティ」をクリックします。
マシン情報画面が表示されます。

2 本機の名前と電話番号を設定します。

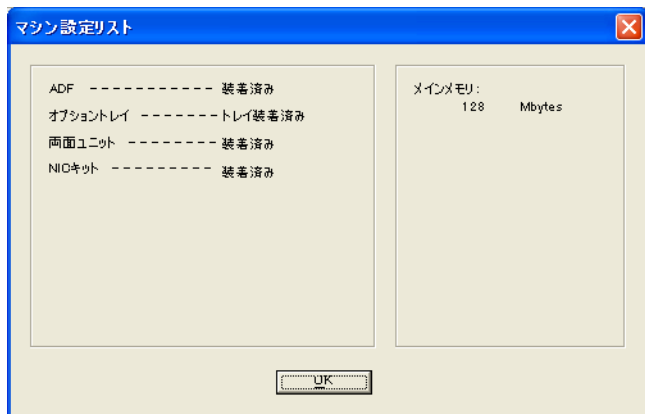
ここで設定した項目は、ファクス送信時のヘッダに表示されます。

トータルカウンタの確認

1 「マシン」メニューより、「トータルカウンタ」をクリックします。
トータルカウンタ画面が表示されます。

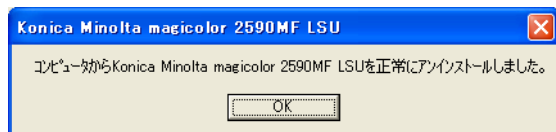
マシン設定リストの確認

1 「マシン」メニューより、「構成」をクリックします。

マシン設定リスト画面が表示されます。

LSU のアンインストール

1 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」（Windows 2000：「プログラム」）－「KONICA MINOLTA」－「magicolor 2590MF」－「LSU」－「アンインストール」をクリックします。

2 画面の指示に従って操作します。

3 以下の画面が表示されればアンインストールの完了です。

プリンタ
ユーティリティ

4

プリンタユーティリティのインストール（Windows）

プリンタユーティリティのインストールを行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。

プリンタユーティリティのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

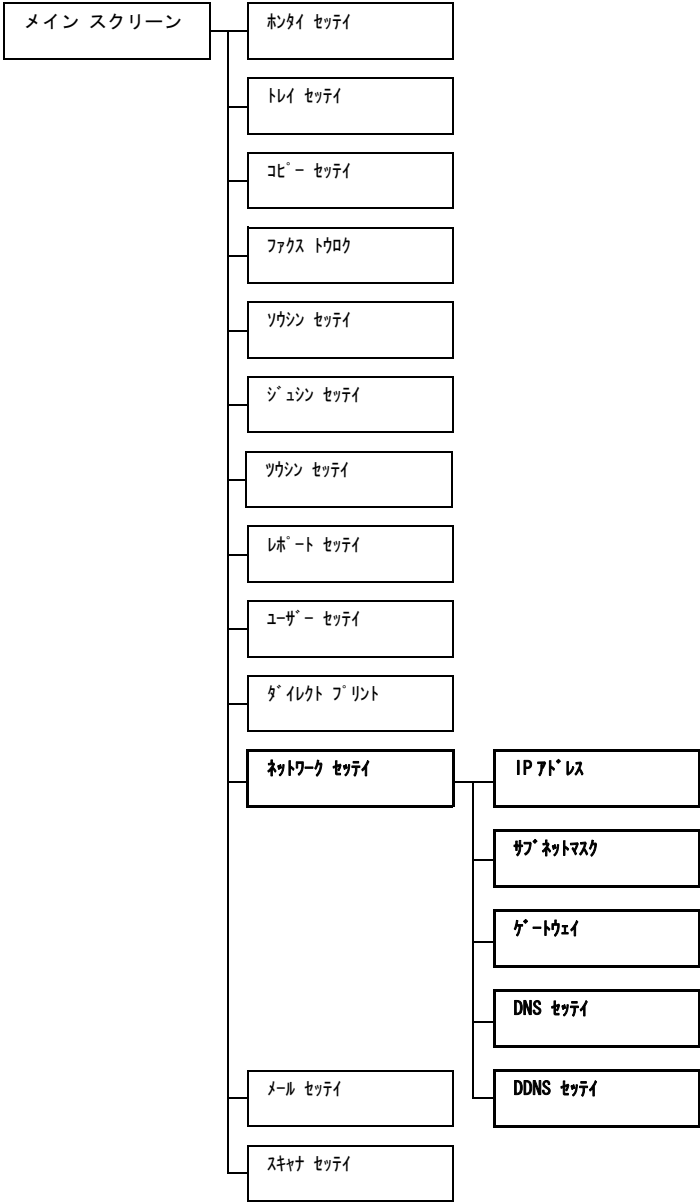
プリンタユーティリティをインストールする手順を説明します。

- PageScope Net Care
- PageScope Network Setup

1. Applications CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブに入れます。
2. 言語を選択します。
3. インストールするユーティリティを選択します。
4. 画面の指示に従って、インストールを進めます。
5. メッセージダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。
6. インストールが完了したら、Applications CD-ROM を CD/DVD-ROM から取り出し、安全な場所に保管してください。

ネットワーク設定メニューについて

ネットワーク設定メニュー

設定メニューの構成

ネットワーク設定メニューの表示

本機の操作パネルで以下のキー操作を行い、本機のネットワークメニューの設定項目を表示します。このメニューでは、設定可能なネットワークの項目をすべて表示できます。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	メイン スクリーン
ﾒﾆｭｰ 選択 ↵	ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ
▲ ×3	ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ
ﾒﾆｭｰ 選択 ↵	

ネットワーク設定メニューの設定項目

本機がネットワーク接続されている場合は、以下の項目を設定する必要があります。各設定項目の詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

手動で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する場合は、「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ － IP ｱﾄﾞﾚｽ」メニューで「ｺﾃｲ」を選択してください。

IP アドレスを設定する際に、クラス D（224.0.0.0 ～ 239.255.255.255）またはクラス E（240.0.0.0 ～ 255.255.255.255）の IP アドレスは設定しないでください。また、IP アドレスの下 3 桁に「255」を使用することはできません。

IP アドレス

目的	本機のネットワーク上の IP アドレスを設定します。
設定値	ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ / ｺﾃｲ
初期値	ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ (「IP ｱﾄﾞﾚｽ」が「ｺﾃｲ」に選択されている場合) 0.0.0.0
範囲	(「IP ｱﾄﾞﾚｽ」が「ｺﾃｲ」に選択されている場合) 各 3 桁の数値：0 ～ 255 テンキーを押して数値を入力し、左 / 右キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
備考	■「.001」のような入力はできません。「.1」として左 / 右キーで移動させます。 ■ キャンセル /C キーは、削除に使用します。IP アドレスメニューをキャンセルするには、1 秒間以上キャンセル /C キーを長押しして、全ての設定をクリアした後に、再度キャンセル /C キーを押してください。 ■ 設定を変更した後に、必ず本機を再起動してください。

サブネットマスク

目的	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。サブネットマスクを使用して、本機の利用可能な範囲を制限することができます（例えば、部署ごとに範囲を設定できます）。
範囲	（「IP ｱﾄﾞﾚｽ」が「ｺﾃｲ」に選択されている場合） 各 3 桁の数値：0 ～ 255 テンキーを押して数値を入力し、左 / 右キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	（「IP ｱﾄﾞﾚｽ」が「ｺﾃｲ」に選択されている場合） 255.255.255.0
備考	■「.001」のような入力はできません。「.1」として左 / 右キーで移動させます。 ■ キャンセル /C キーは、削除に使用します。サブネットマスクメニューをキャンセルするには、1 秒間以上キャンセル /C キーを長押しして、全ての設定をクリアした後に、再度キャンセル /C キーを押してください。 ■ 設定を変更した後に、必ず本機を再起動してください。

「IP ｱﾄﾞﾚｽ」が「ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ」に設定されている場合、このメニューは設定できません。

ゲートウェイ

目的	ネットワーク上にルータ / ゲートウェイがあり、サブネットを越えた先のネットワーク上のユーザからも本機を利用できるようにする場合、ルータ / ゲートウェイのアドレスを設定できます。
範囲	(「IP ｱﾄﾞﾚｽ」が「ｺﾃｲ」に選択されている場合) 各 3 桁の数値：0 ～ 255 テンキーを押して数値を入力し、左 / 右キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	(「IP ｱﾄﾞﾚｽ」が「ｺﾃｲ」に選択されている場合) 0.0.0.0
備考	■「.001」のような入力はできません。「.1」として左 / 右キーで移動させます。 ■ キャンセル /C キーは、削除に使用します。ゲートウェイメニューをキャンセルするには、1 秒間以上キャンセル /C キーを長押しして、全ての設定をクリアした後に、再度キャンセル /C キーを押してください。 ■ 設定を変更した後に、必ず本機を再起動してください。

「IP ｱﾄﾞﾚｽ」が「ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ」に設定されている場合、このメニューは設定できません。

DNS セッテイ

目的	DNS サーバ設定を有効にするかどうか設定します。 DNS サーバ設定を有効にすれば、スキャンしたデータをメールで送信する時に、SMTP サーバの IP アドレスに代えてホスト名を指定することができます。 「ｷｮｶ」を選択した場合、DNS サーバの IP アドレスを指定します。 「ｷﾝｼ」を選択した場合、DNS サーバを参照しません。
設定値	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
初期値	ｷﾝｼ
範囲	(「DNS ｾｯﾃｲ」が「ｷｮｶ」に選択されている場合) 各 3 桁の数値：0 〜 255 テンキーを押して数値を入力し、左 / 右キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
備考	■ 「.001」のような入力はできません。「.1」として左 / 右キーで移動させます。 ■ キャンセル /C キーは、削除に使用します。DNS 設定メニューをキャンセルするには、1 秒間以上キャンセル /C キーを長押しして、全ての設定をクリアした後に、再度キャンセル /C キーを押してください。 ■ 設定を変更した後に、必ず本機を再起動してください。

スキャンしたデータをメールで送信する場合などで、SMTP サーバの IP アドレスに代えてホスト名を指定する時は、必ず「DNS ｾｯﾃｲ」を「ｷｮｶ」に設定した後に、DNS サーバの IP アドレスを指定してください。

DDNS セッテイ

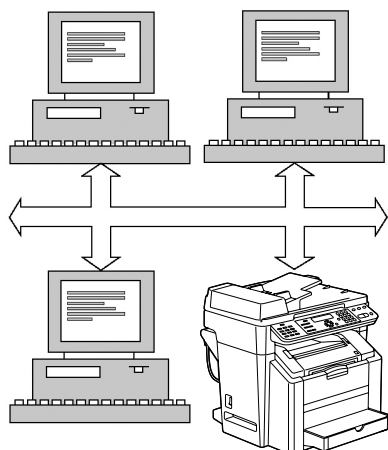
目的	DNS サーバが DDNS 機能をサポートする場合に設定します。DDNS 機能を使用すると、本機の IP アドレスが変更された場合に、DNS データベースの更新を行います。 「ｷｮｶ」を選択した場合、DDNS 機能を使用します。 「ｷﾝｼ」を選択した場合、DDNS 機能を使用しません。
設定値	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
初期値	ｷﾝｼ

ネットワーク印刷

ネットワーク接続

概念図

本機を TCP/IP ネットワークに接続するには、内部ネットワークアドレスを本機に設定しておく必要があります。

ネットワーク環境によっては、サブネットマスク／ゲートウェイ（ルータ）アドレスも入力する必要があります。

接続方法

イーサネット接続の場合

標準イーサネットインターフェースは RJ45 コネクタで、伝送速度が 10 ～ 100 メガビット／秒（Mbit/s）です。

本機をイーサネットネットワークに接続するときは、IP（Internet Protocol）アドレスの設定方法によって、操作手順が異なります。本機の工場出荷時には、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動取得（DHCP、BOOTP）に設定されています。

- IP アドレス：TCP/IP ネットワーク上で各デバイスを識別する固有の値
- サブネットマスク：IP アドレスが属するサブネットを判断するために使用されるフィルタ
- ゲートウェイ：サブネットを越えて通信する場合に最初に経由する、ネットワーク上のノード（機器）

ネットワーク上にある各コンピュータと本機の IP アドレスは固有のアドレスでなければならないため、通常本機の初期設定のアドレスを変更して、そのネットワークや周りのネットワーク上にある他の機器の IP アドレスとコンフリクト（競合）しないようにする必要があります。2 種類の方法のいずれかでその変更を行うことができます。それぞれの方法について、以下に詳しく説明します。

- DHCP を使用する場合
- アドレスを手動設定する場合

DHCP を使用する場合

お使いのネットワークで DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用している場合は、本機の電源をオンにすると、DHCP サーバによって IP アドレスが自動的に割り当てられます。（DHCP の説明については、「ネットワーク印刷」（p.139）を参照してください。）

本機の IP アドレスが自動的に設定されない場合は、［表示切替］キーを押して「ﾚﾎﾟｰﾄ - ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ」からプリンタ設定リストを印刷し、DHCP が有効になっているか確認してください。DHCP が有効になっていない場合は、「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ - IP ｱﾄﾞﾚｽ」メニューで「ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ」を選択してください。

1 本機をネットワークに接続します。

イーサネットケーブルのコネクタ（RJ45）を、本機のインターフェースパネルのイーサネットポートに差し込んで、本機をネットワークに接続します。

2 コンピュータと本機の電源をオンにします。

3 本機のメッセージ画面が初期化されたら、プリンタドライバをインストールします。

アドレスを手動設定する場合

以下の方法で、本機の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定変更することができます。（詳しくは、第 5 章 “ ネットワーク設定メニューについて ” を参照してください。）

IP アドレスを変更した場合は、あらたにポートを追加するか、プリンタドライバを再インストールしてください。

ご注意

本機の IP アドレスを変更する場合は、必ずネットワーク管理者に連絡してください。

1 コンピュータと本機の電源をオンにします。

2 本機のメッセージ画面が初期化されたら、IP アドレスの設定を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	メイン スクリーン
メニュー選択 ↵	ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ？ OK= ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ 1-9
▲ ×3	ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ？ OK= ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ 1-5
メニュー選択 ↵	1 IP ｱﾄﾞﾚｽ？ OK= ｾﾝﾀｸ
メニュー選択 ↵	＊ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭﾄｸ ｺﾃｲ <，＞& ｾﾝﾀｸ
▶	ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭﾄｸ＊ｺﾃｲ <，＞& ｾﾝﾀｸ
メニュー選択 ↵	ADDR=0 .0 .0 .0 OK= ｾﾝﾀｸ
■ テンキーを押して数値を入力し､左/右キーを押して 1 〜 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 ■「.001」のような入力はできません。「.1」として左 / 右キーで移動させます。 ■ キャンセル /C キーは、削除に使用します。IP アドレスメニューをキャンセルするには、1 秒間以上キャンセル /C キーを長押しして、全ての設定をクリアした後に、再度キャンセル /C キーを押してください。	

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
ﾒﾆｭｰ 選択 ↵	メイン スクリーン

3 「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ」を表示させます。

4 サブネットマスクとゲートウェイを設定しない場合は、手順 7 にすすんでください。

サブネットマスクを設定せずにゲートウェイを設定する場合は、手順 6 にすすんでください。

サブネットマスクを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▼	2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ ? OK= ｾﾝﾀｸ
ﾒﾆｭｰ 選択 ↵	SUB=255.255.255.0 OK= ｾﾝﾀｸ
■ テンキーを押して数値を入力し､左 / 右キーを押して 1 ～ 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 ■ 「.001」のような入力はできません。「.1」として左 / 右キーで移動させます。 ■ キャンセル /C キーは、削除に使用します。サブネットマスクメニューをキャンセルするには、1 秒間以上キャンセル /C キーを長押しして、全ての設定をクリアした後に、再度キャンセル /C キーを押してください。	
ﾒﾆｭｰ 選択 ↵	メイン スクリーン

5 「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ」を表示させます。

6 ゲートウェイを設定しない場合は、手順 7 にすすんでください。
ゲートウェイを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▼ ×2	3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ？ OK= ｾﾝﾀｸ
ﾒﾆｭｰ 選択 ↵	ADDR=0 .0 .0 .0 OK= ｾﾝﾀｸ
■ テンキーを押して数値を入力し､左 / 右キーを押して 1 〜 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 ■「.001」のような入力はできません。「.1」として左 / 右キーで移動させます。 ■ キャンセル /C キーは、削除に使用します。ゲートウェイメニューをキャンセルするには、1 秒間以上キャンセル /C キーを長押しして、全ての設定をクリアした後に、再度キャンセル /C キーを押してください。	
ﾒﾆｭｰ 選択 ↵	メイン スクリーン

7 本機を再起動します。

8 ［表示切替］キーを押して「ﾚﾎﾟｰﾄ - ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ」からプリンタ設定リストを印刷し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく設定されているか確認します。

9 本機のメッセージ画面が初期化されたら、プリンタドライバをインストールします。

ネットワーク印刷

ここでは、ネットワーク印刷に関する用語を説明します。

- Boujour
- BOOTP
- DDNS
- DHCP
- DNS
- HTTP
- POP Before SMTP
- Port 9100
- SMTP
- SMTP Authentication
- TCP/IP

本章では、これらのネットワーク印刷に関する用語について説明します。

Bonjour

Bonjour は、ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術です。以前は Rendezvous と呼ばれていましたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更されました。

BOOTP

BOOTP（Bootstrap Protocol）は、ディスクレスクライアントが、自己の IP アドレス、ネットワーク上の BOOTP サーバの IP アドレス、起動するためにメモリにロードするファイルを取得できるようにするインターネットプロトコルです。BOOTP により、クライアントは、ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブがなくても起動できるようになります。

DDNS（Dynamic DNS）

DDNS（Dynamic Domain Name System）は、動的に割り当てられる IP アドレスを、自動的に固定ドメインに割り当てる技術です。近年、常時接続環境が整ってきたことにより、自宅のパソコンをインターネットに Web サーバとして公開しようとするユーザーが増えてきました。ただ、インターネットサービスプロバイダから提供される IP アドレスは、接続のたびに変更される場合が多く、インターネットに公開するには不便でした。DDNS サービスを利用することにより、常に固定のホスト名で自宅サーバにアクセスすることが可能になります。

DHCP

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）は、動的 IP アドレスをネットワーク上のデバイスに割り当てるプロトコルです。動的 IP アドレスを使用するため、デバイスはネットワークに接続するたびに異なる IP アドレスを取得することもあります。システムによっては、デバイスがネットワークに接続され続けていても IP アドレスが途中で変わることもあります。また、DHCP は固定 IP アドレスと動的 IP アドレスの両方が存在する環境にも対応しています。動的アドレスを使用すると、ソフトウェアが IP アドレスの情報を把握するため、ネットワーク管理者が IP アドレスの管理を行うよりも、ネットワーク管理が簡単になります。例えば、固有の IP アドレスを手動で割り当てる手間をかけずに、新しいデバイスをネットワークに追加することができます。

DNS

Domain Name System の略。ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのことです。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のコンピュータにアクセスできるようになります。

HTTP

HTTP（HyperText Transfer Protocol）は、ワールドワイドウェブ（WWW）で使用されている基礎となるプロトコルです。HTTP では、メッセージの書式、送信方法や、各種コマンドに対する Web サーバとブラウザの動作が規定されています。例えば、ブラウザで URL を入力すると、実際には、要求した Web ページの取得と送信を指示する HTTP コマンドがその Web サーバに送られます。

POP Before SMTP

電子メールを送信する際の、ユーザー認証方法のひとつです。まず受信動作を行い、POP サーバにてユーザー認証を行います。その後、POP サーバでユーザー認証を通過した IP アドレスに対して、SMTP サーバの利用を許可します。メールサーバの利用権のない第三者が、不正にメールを送信するのを防ぐことができます。

Port 9100

ネットワーク経由で印刷をする場合、TCP/IP の port 番号 9100 を利用して raw データを送信することができます。

SMTP

SMTP （Simple Mail Transfer Protocol ）は、電子メールをやりとりするためのプロトコルです。もともとはサーバ同士でメールをやり取りするために使われていましたが、現在は POP を用いた電子メールクライアントソフトウェアがサーバーに対してメールを送信する際にも利用されています。

SMTP Authentication

メール送信に使用する STMP に、ユーザー認証の機能を追加した仕様のことです。メールの送信時に、SMTP サーバとユーザーとの間で認証を行い、認証に成功した場合にのみメールの送信を許可します。

TCP/IP

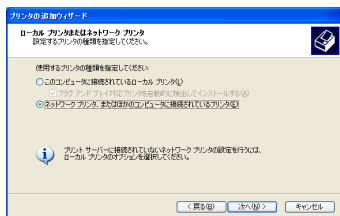
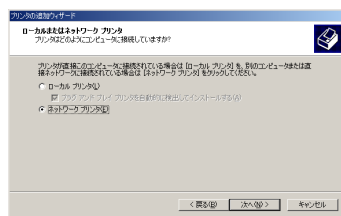
ほとんどのネットワークでは、TCP（Transmission Control Protocol）を、下位レベルのプロトコルである IP（Internet Protocol）と組み合わせて使用します。TCP は 2 つのホストシステムの仮想接続を行い、システム間のデータの配信を保証します。そのとき IP はそれら 2 つのホストシステム間で送信されるデータの形式とアドレス指定方法を規定します。

IPP（Internet Printing Protocol）印刷－ Windows XP/Server 2003/2000

「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加

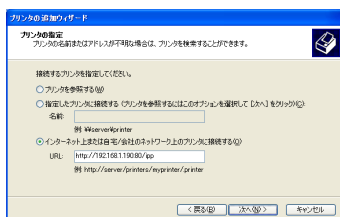
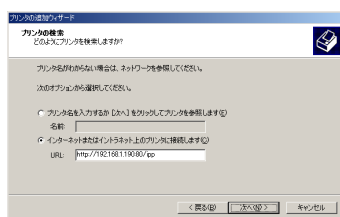
- Windows XP Home Edition の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「コントロールパネル」から「プリンタとその他のハードウェア」－「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows XP Professional/Server 2003 の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows 2000 の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「設定」から「プリンタ」を選択します。次に「プリンタの追加」をクリックします。

1 2 番目に表示される画面で「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」（Windows XP/Server 2003 の場合）、または「ネットワーク プリンタ」（Windows 2000 の場合）を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows XP/Server 2003

Windows 2000

2 次に表示される画面で、「URL」に以下のいずれかの形式でプリンタのネットワークパス名を入力し、［次へ］をクリックします。

- http://IP アドレス /ipp
- http://IP アドレス :80/ipp
- http://IP アドレス :631/ipp

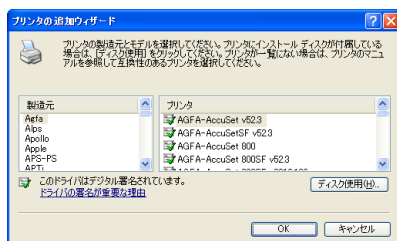
Windows XP/Server 2003

Windows 2000

プリンタへ接続できなかった場合、以下のメッセージが表示されます。

- Windows XP/Server 2003：「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報を参照するには、［ヘルプ］をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。［OK］をクリックして前の画面に戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。
- Windows 2000：「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報については［ヘルプ］をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。［OK］をクリックして前の画面に戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。

3 Windows XP/Server 2003 の場合：手順 4 にすすんでください。

Windows 2000 の場合：手順 2 で有効なパス名を入力すると、「KONICA MINOLTA magicolor 2590MF プリンタが接続されているサーバーに正しいプリンタドライバがインストールされていません。ローカルコンピュータにドライバをインストールする場合は［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。これはプリンタドライバがまだインストールされていないためです。［OK］をクリックします。

4 ［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 内のプリンタドライバファイルがあるフォルダ（例：Printer Driver¥Japanese¥Win32）を指定し、［OK］をクリックします。

5 プリンタドライバのインストールを完了します。

IPP（Internet Printing Protocol）印刷－ Windows Vista

「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加

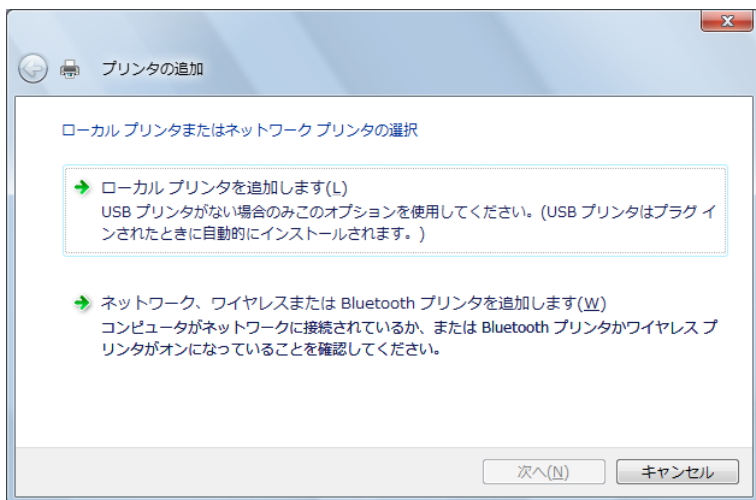
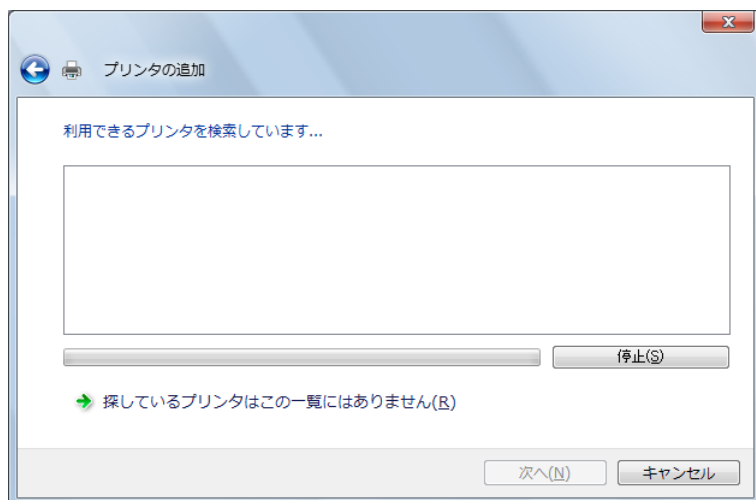
1 ［スタート］ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

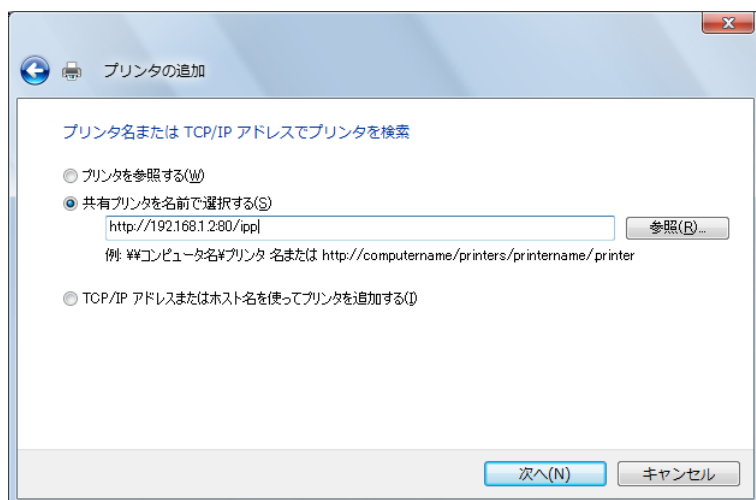
2 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが開きます。

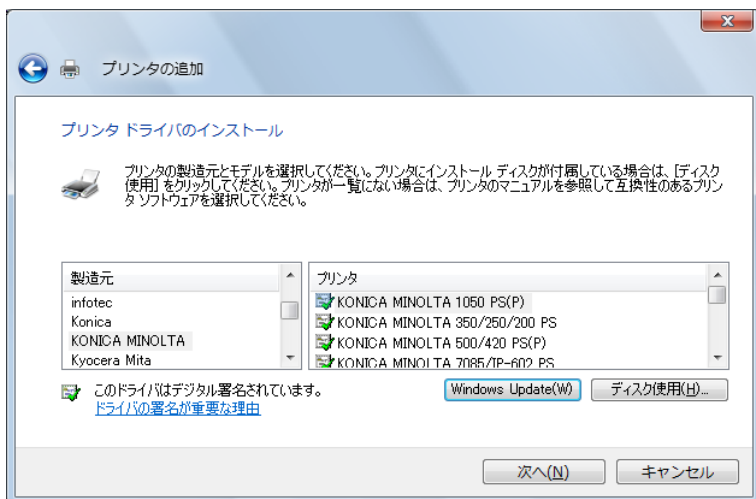
3 ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。

「プリンタの追加」が表示されます。

4 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。

5 「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。

6 次に表示される画面で、「共有プリンタを名前で選択する」に以下のいずれかの形式でプリンタのネットワークパス名を入力し、[次へ] をクリックします。

- http://IP アドレス /ipp
- http://IP アドレス :80/ipp
- http://IP アドレス :631/ipp

プリンタへ接続できなかった場合、以下のメッセージが表示されます。

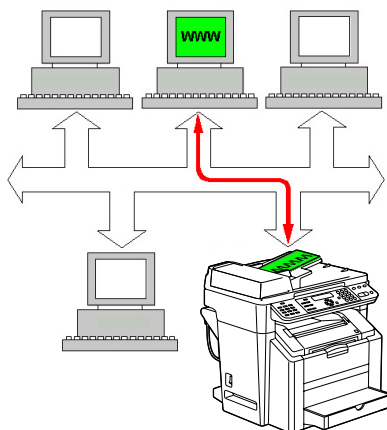
- 「プリンタへ接続できませんでした。名前が正しく入力されていて、プリンタがネットワークに接続されていることを確認してください。」

7 ［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 内のプリンタドライバファイルがあるフォルダ（例：Printer Driver¥Japanese¥Win32）を指定し、［次へ］をクリックします。

8 プリンタドライバのインストールを完了します。

PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection について

PageScope Web Connection は、本機に内蔵されている HTTP（Hyper-Text Transfer Protocol）ベースの Web ページで、Web ブラウザを使用してアクセスすることができます。

PageScope Web Connection を使用すると、本機のステータス（状況）や、本機で頻繁に使用する設定内容をすぐに確認することができます。どなたでも Web ブラウザを使用してネットワーク上の本機にアクセスすることができます。また、パスワードを正しく入力すれば、そのコンピュータ上で本機の設定を変更することができます。

 管理者からパスワードを知らされていないユーザは、設定内容を確認できますが、設定内容を変更できません。

表示言語

PageScope Web Connection 上で表示される言語は、プリンタの操作パネルで設定できます。表示言語の設定の詳細については、magicolor 2590MF プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイドをごらんください。

動作環境

PageScope Web Connection を使用するには、以下の環境が必要です。

- Windows Server 2003/XP/2000、Mac OS X 10.2.8 以降
- Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 以降
- Safari version 1.0 以降

  インターネットへ接続する必要はありません。
- お使いのコンピュータに TCP/IP 接続ソフトウェアがインストールされていること（PageScope Web Connection で使用されます）
- お使いのコンピュータと本機の両方がネットワークに接続されていること

   ローカル接続（USB 接続）の場合は、PageScope Web Connection にアクセスできません。

本機内蔵 Web ページの設定

本機内蔵 Web ページをネットワーク上で動作させるためには、以下の 2 つの設定が必要です。

■ 本機の名前とアドレスを設定します。

■ Web ブラウザ上で「プロキシなし」の設定を行います。

本機の名前の設定

本機内蔵 Web ページには、以下の 2 種類の方法でアクセスできます。

ネットワークが WINS をサポートしている場合は、WINS 経由で本機の名前を指定することもできます。

■ 本機に割り当てられた名前を使用する

本機の名前はコンピュータ内の IP ホストテーブル（ファイル名は "hosts"）で設定されており、通常システム管理者によって割り当てられます（例：magicolor 2590MF）。IP アドレスよりも本機の名前を使用する方が扱いやすい場合もあります。

コンピュータ内のホストテーブルファイルの場所

- Windows Server 2003/XP/Vista
¥windows¥system32¥drivers¥etc¥hosts

- Windows 2000
¥winnt¥system32¥drivers¥etc¥hosts

■ 本機の IP アドレスを使用する

IP アドレスは固有の番号であるため、特にネットワーク上で多くのプリンタが動作している場合は、入力する値として識別しやすい場合があります。本機の IP アドレスは、プリンタ設定リスト（ﾚﾎﾟｰﾄ - ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ）に記載されています。

Web ブラウザの設定

プリンタはイントラネット上にあり、ネットワークのファイアウォールを越えてはアクセスできないため、お使いの Web ブラウザで正しく設定を行う必要があります。Web ブラウザの設定画面の「プロキシなし」のリストに本機の名前または IP アドレスを追加する必要があります。

この操作は一度だけ行えば、それ以降は設定の必要ありません。

以下に記載しているサンプル画面は、ソフトウェアのバージョンや使用している OS によって異なる場合があります。

ここでの例では、本機の IP アドレスの部分を「xxx.xxx.xxx.xxx」と表しています。必ず上位桁の 0 を入れずに IP アドレスを入力してください。例えば、192.168.001.002 の場合は 192.168.1.2 として入力します。

Internet Explorer（Windows 版バージョン 6.0）

1 Internet Explorer を起動します。

2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選択します。

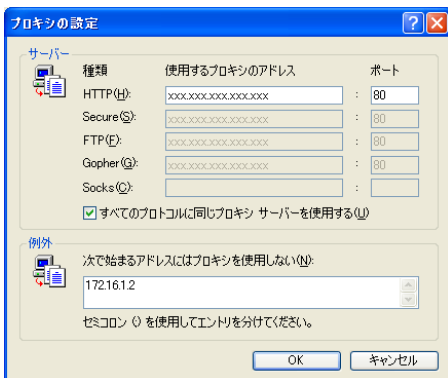
3 画面の「接続」タブをクリックします。

4 ［LAN の設定］ボタンをクリックして、ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定画面を表示します。

5 プロキシ サーバー内の［詳細設定］ボタンをクリックして、プロキシの設定画面を表示します。

6 必要に応じて「例外」テキストボックスに本機の名前または IP アドレスを入力します。

7 ［OK］を 3 回クリックして、Web ブラウザのメインウィンドウに戻ります。

8 URL 入力ボックスに本機の IP アドレスを入力して、本機の Web ページにアクセスします。

Netscape Navigator（バージョン 7.1）

1 Netscape Navigator を起動します。

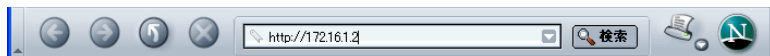
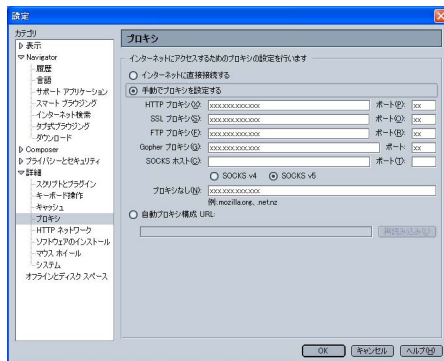
2 「編集」メニューから「設定」を選択します。

3 画面の左側の欄から「詳細／プロキシ」ディレクトリを選択します。

4 「手動でプロキシを設定する」を選択します。

5 「プロキシなし」テキストボックスに、最後のエントリの後にコンマを入力してから、本機の名前または IP アドレスを入力します。

6 ［OK］をクリックして、Web ブラウザのメインウィンドウに戻ります。

7 URL 入力ボックスに本機の名前または IP アドレスを入力して、本機の Web ページにアクセスします。

Safari（バージョン 1.2）

1 アップルメニューから「場所」－「ネットワーク環境設定 ...」を選択します。

2 ネットワーク画面の「設定」をクリックします。

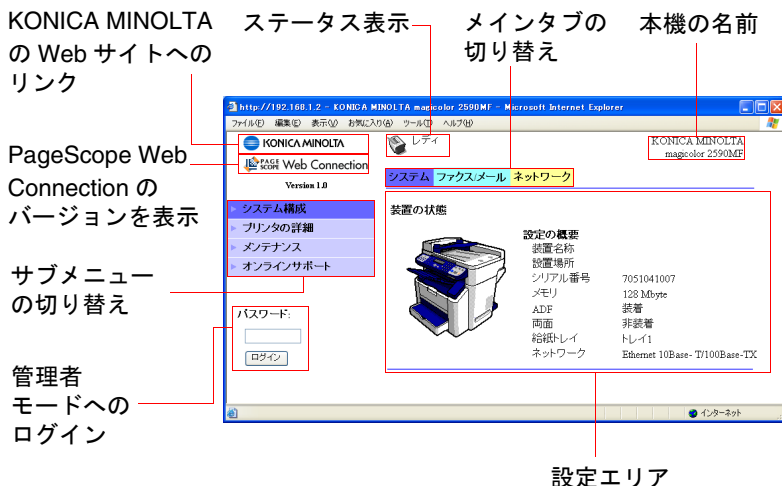
3 「プロキシ」タブをクリックします。

4 「プロキシ設定を使用しないホストとドメイン」テキストボックスに、お使いのプリンタの名前または IP アドレスを追加します。

5 「今すぐ適用」ボタンをクリックします。

6 URL 入力ボックスにプリンタの名前または IP アドレスを入力して、プリンタの Web ページにアクセスします。

PageScope Web Connection ウィンドウについて

以下の画面図では、PageScope Web Connection ウィンドウ内をナビゲーションエリアと設定エリアに分けて説明しています。

操作方法

メインタブとサブメニューを選択すると、選択した設定項目が設定エリアに表示されます。

現在の設定を変更する場合は、現在設定されている値をクリックし、項目の選択や新しい値の入力を行います。

設定変更の適用、保存を行うためには、管理者モードでログインする必要があります。(「管理者モード」(p.156) を参照してください。)

ステータス表示

本機の現在の状態（ステータス）は、PageScope Web Connection ウィンドウの上部に常に表示されます。以下のアイコンによって、ステータスの種類を表します。

アイコン	ステータス	説明	例
	レディ	本機がオンライン状態で、印刷可能状態または印刷中です。	レディ 印刷中
	注意	注意が必要ですが、印刷は続行可能です。	ウォームアップ中
	エラー	次に印刷を行う前に注意が必要です。	用紙がありません 前カバーが開いています
	トラブル	本機を再起動する必要があります。再起動してもエラーが消えない場合は、修理が必要です。	マシントラブル

ユーザモード

PageScope Web Connection を表示すると、自動的にユーザモードの状態になっています。ユーザモードでは設定内容を確認できますが、設定の変更はできません。

管理者モード

PageScope Web Connection 上で設定を変更する場合は、まず管理者モードに入る必要があります。

1 「パスワード」ボックスにパスワードを入力します。

パスワードの初期設定は「MagiMFP」ですが、管理者モードに入り、システム － 管理情報画面でこのパスワードを変更することができます。

2 ［ログイン］ボタンをクリックします。

間違ったパスワードを入力すると、無効なパスワード画面が表示されます。正しいパスワードを再入力してください。

本機の設定

PageScope Web Connection を使用して設定変更を行うためには、まず管理者モードに入る必要があります。管理者モードにログインする方法については、「管理者モード」（p.156）を参照してください。

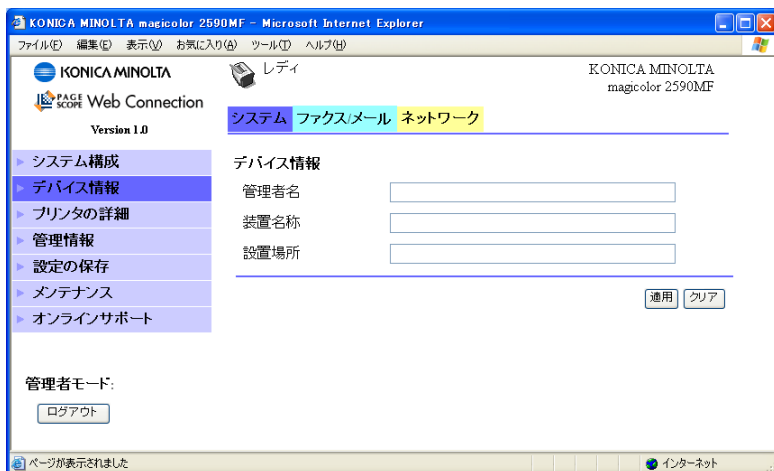
システム画面

システム画面では、ユーザ設定と本機に関する設定を行うことができます。

システム構成（前ページ画面）

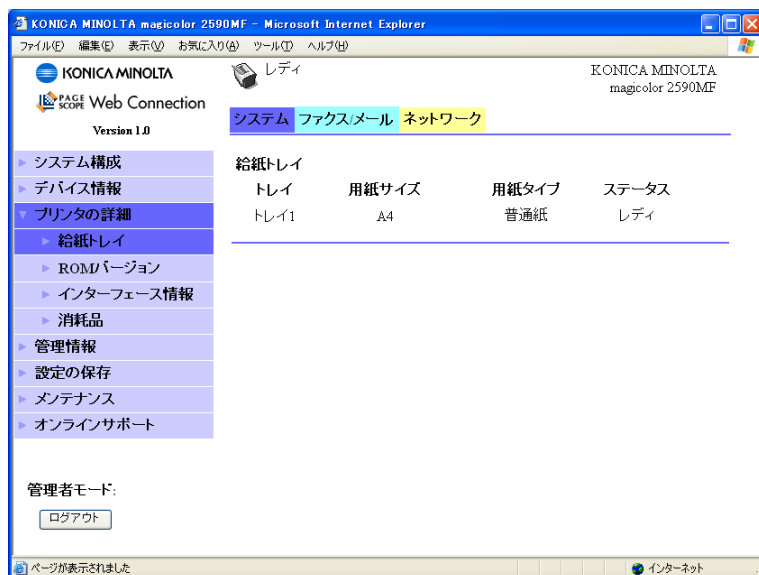
システム －システム構成画面では、以下の項目を表示します。

項目	説明
装置名称	本機の名前が表示されます。
設置場所	本機の設置場所が表示されます。
シリアル番号	本機のシリアル番号が表示されます。
メモリ	本機に装着されているメモリの量が表示されます。
ADF	ADF が装着されているかどうか表示されます。
両面	オプションの両面ユニットが装着されているかどうか表示されます。
給紙トレイ	オプションの給紙トレイが装着されているかどうか表示されます。
ネットワーク	本機に装着されているネットワークインターフェースの種類が表示されます。（イーサネット 10Base-T/100Base-TX）
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

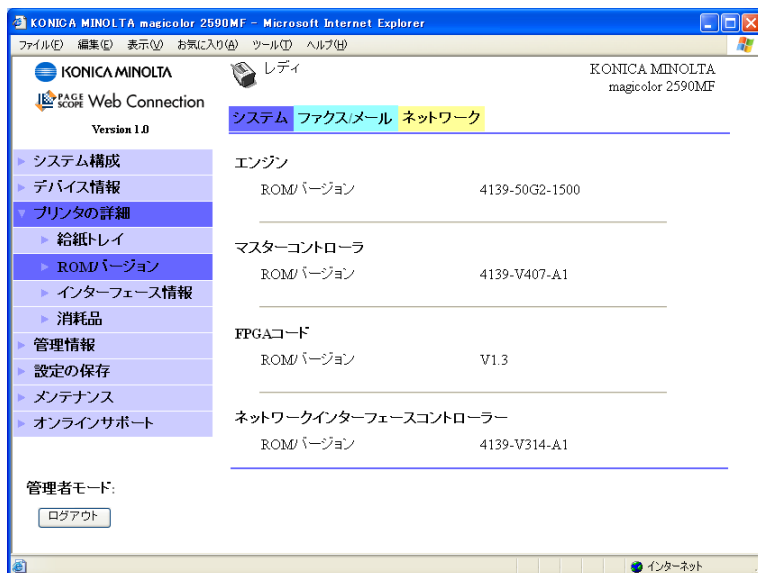
デバイス情報

システム － デバイス情報画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
管理者名	本機の管理者名を設定します。 範囲： 全角 127（半角 255）文字以下 初期値：（空白）
装置名称	本機の名前を設定します。 範囲： 全角 127（半角 255）文字以下 初期値：（空白）
設置場所	本機の設置場所を設定します。 範囲： 全角 127（半角 255）文字以下 初期値：（空白）
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

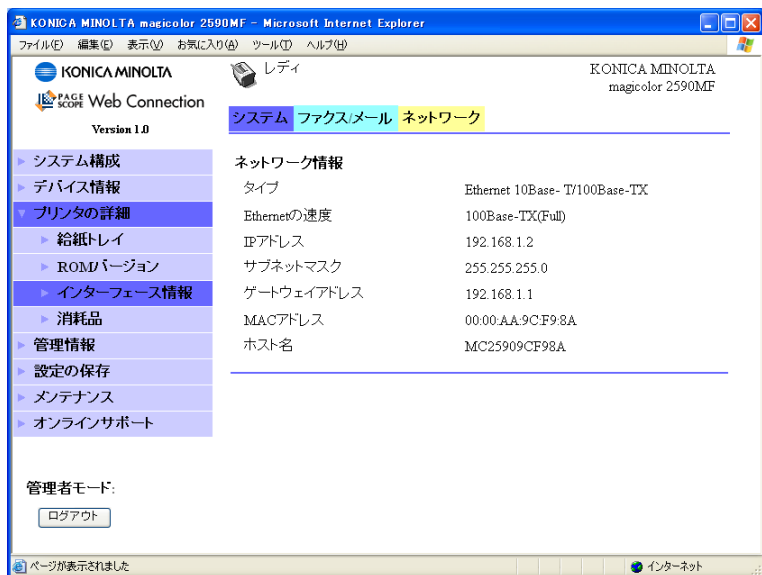
プリンタの詳細

給紙トレイ

システム － プリンタの詳細 － 給紙トレイ画面では、以下の項目を表示します。

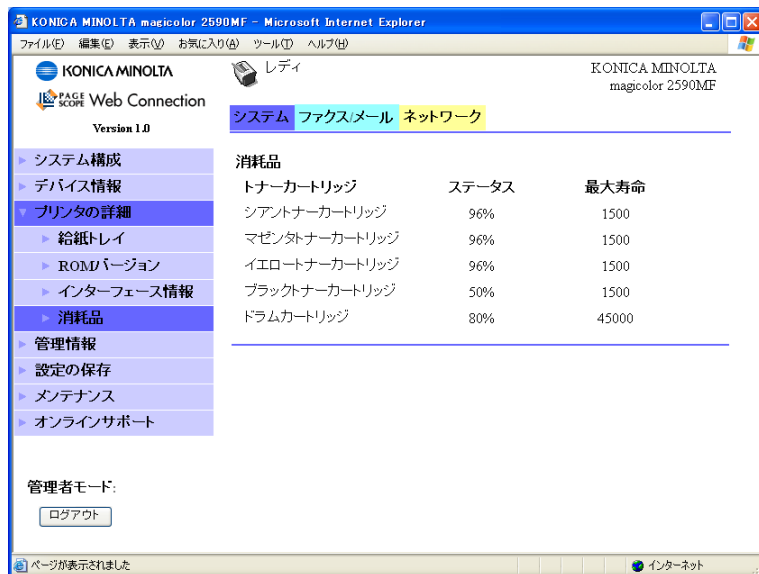
項目	説明
トレイ	本機に装着されている給紙ユニット（トレイ 1/2）が表示されます。
用紙サイズ	各トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
用紙タイプ	各トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
ステータス	各トレイにセットされている用紙の残り具合が表示されます（レディ、エンプティ）。

ROM バージョン

システム － プリンタの詳細 － ROM バージョン画面では、以下の項目を表示します。

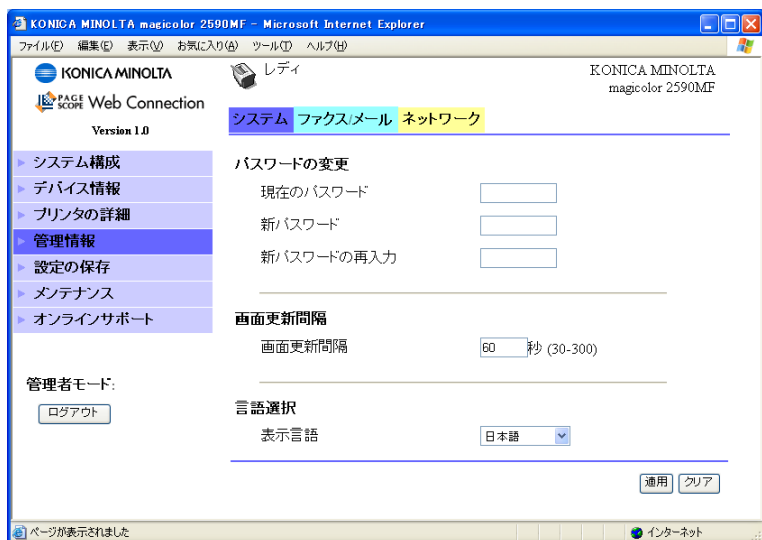
項目	説明
エンジン	エンジンの ROM バージョンが表示されます。
マスターコントローラ	マスターコントローラの ROM バージョンが表示されます。
FPGA コード	FPGA コードの ROM バージョンが表示されます。
ネットワークインターフェースコントローラー	ネットワークインターフェースコントローラーの ROM バージョンが表示されます。

インターフェース情報

システム ー プリンタの詳細 ー インターフェース情報画面では、以下の項目を表示します。

項目	説明
タイプ	本機に装着されているネットワークインターフェースの種類が表示されます。
Ethernet の速度	ネットワークの伝送速度と伝送方法が表示されます。
IP アドレス	イーサネットインターフェースの IP アドレスが表示されます。
サブネットマスク	イーサネットインターフェースのサブネットマスクが表示されます。
ゲートウェイアドレス	イーサネットインターフェースのゲートウェイアドレスが表示されます。
MAC アドレス	イーサネットインターフェースの MAC（Media Access Control）アドレスが表示されます。
ホスト名	本機のホスト名が表示されます。

消耗品

システム – プリンタの詳細 – 消耗品画面では、以下の項目を表示します。

項目	説明
消耗品	状況を確認できる消耗品が表示されます。
ステータス	各消耗品の残りの寿命が表示されます。 ■ トナーカートリッジ：%表示 ■ ドラムカートリッジ：%表示
最大寿命	各消耗品の最大寿命が枚数で表示されます。

管理情報

システム － 管理情報画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
現在のパスワード	管理者モードに入るための現在のパスワードを入力します。 範囲：　半角 8 文字以下 初期値：（空白）
新パスワード	管理者モードに入るための新しいパスワードを設定します。 パスワードは、半角 4 文字から 8 文字のアルファベット（大文字、小文字）および数字を使用して設定することができます。
新パスワードの再入力	確認のため、新パスワードを再入力します。

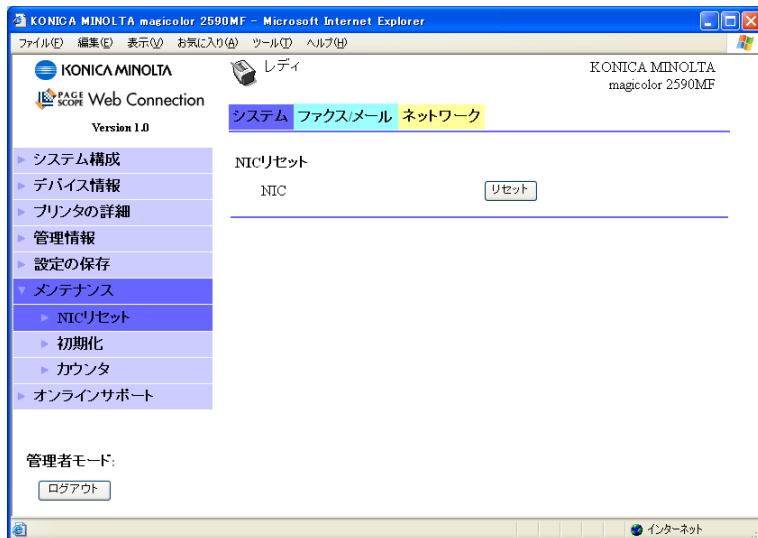
項目	説明
画面更新間隔	画面更新間隔を設定します。画面の更新時には、新しい情報やステータスがないか本機に確認し、PageScope Web Connection の全項目が更新されます。 範囲： 30 ～ 300 秒（0.5 ～ 5 分） 初期値： 60 秒 30 秒以下の秒数を入力した場合、値は「30 秒」に設定されます。300 秒以上の秒数を入力した場合、値は「300 秒」に設定されます。
表示言語	PageScope Web Connection 画面の表示言語を設定します。 設定値：英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、チェコ語、スロバキア語、ハンガリー語、ポーランド語、日本語 初期値：日本語
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

設定の保存

システム – 設定の保存画面では、本機の設定ファイルをコンピュータに保存できます。また、保存されている設定ファイルを本機に送信できます。

以下の設定は保存できません。

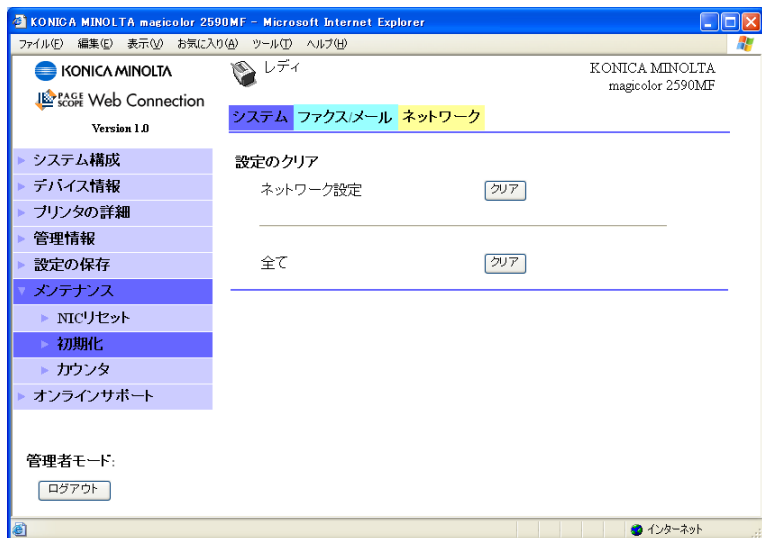
- 本機の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス
- ポート番号
- DHCP/BOOTP の設定
- 電話帳
- ファクス PPT 設定

項目		説明
設定の保存	[保存] ボタン	本機の設定ファイルをコンピュータに保存します。
設定の復元	ファイル名	コンピュータに保存されている設定ファイル名を指定します。
	[参照] ボタン	本機の設定ファイルが保存された場所を参照するためのダイアログボックスが開きます。
	[実行] ボタン	本機に設定ファイルを送信し上書きします。

メンテナンス

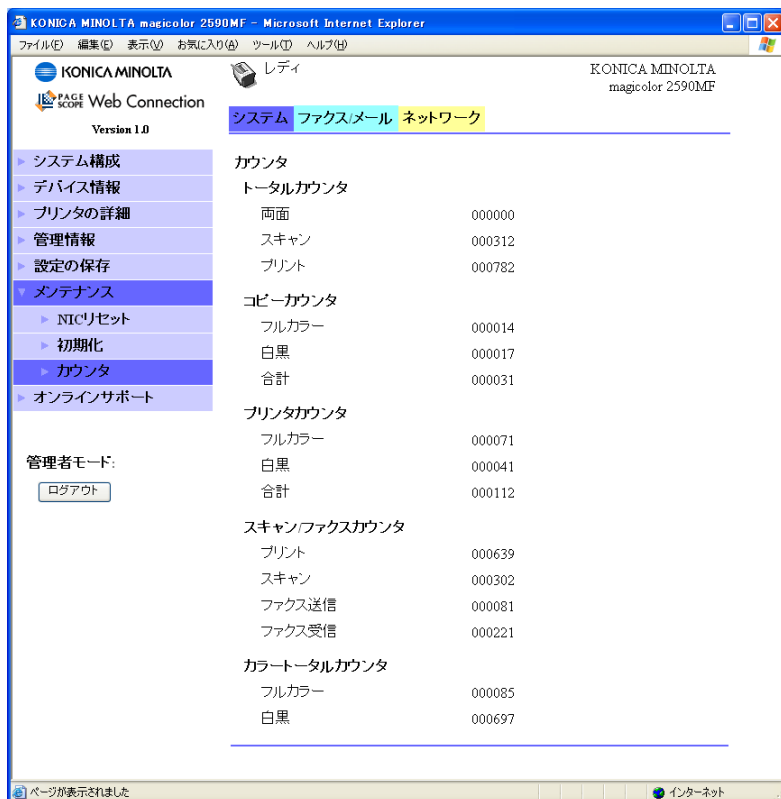
NIC リセット

システム － メンテナンス － NIC リセット画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
［リセット］ボタン	ボタンをクリックすると、警告画面が表示されます。警告画面で「はい」をクリックすると、本機が再起動して設定がリセットされます。

初期化

システム ― メンテナンス ― 初期化画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
ネットワーク設定	ネットワーク設定を工場出荷時設定に戻します。
全て	全ての設定を工場出荷時設定に戻します。
[クリア] ボタン	ボタンをクリックすると、警告画面が表示されます。警告画面で「はい」をクリックすると、本機が再起動して設定が初期化されます。

カウンタ

システム － メンテナンス － カウンタ画面では、以下の項目を表示します。

項目	説明
トータルカウンタ	これまでの印刷枚数、スキャン枚数、両面印刷枚数が表示されます。
コピーカウンタ	フルカラーコピー枚数、白黒コピー枚数、それらの合計枚数が表示されます。
プリンタカウンタ	コンピュータからのフルカラー印刷枚数、白黒印刷枚数、それらの合計枚数が表示されます。
スキャン / ファクスカウンタ	保存データの印刷枚数、スキャンまたはファクスモードでのスキャン枚数、ファクス送信枚数、ファクス受信枚数が表示されます。
カラートータルカウンタ	フルカラー印刷枚数、白黒印刷枚数が表示されます。

オンラインサポート

システム － オンラインサポート画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
問い合わせ先	本機に関する問い合わせ先の担当者や組織の名前を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： KONICA MINOLTA Customer Support
問い合わせ先情報	本機に関する問い合わせ先の電話番号を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下（数字、「-」のみ） 初期値：（空白）
製品情報ホームページ	本機の製品情報が載っている Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： http://printer.konicaminolta.com
製品元ホームページ	KONICA MINOLTA の Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： http://printer.konicaminolta.com
消耗品連絡先	消耗品とアクセサリ（付属品）の発注先の電話番号を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下（数字、「-」のみ） 初期値： http://q-shop.com

項目	説明
オンラインマニュアル URL	オンラインヘルプが使用できる Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 64 文字以下 初期値：http://pagescope.com
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして初期設定に戻します。

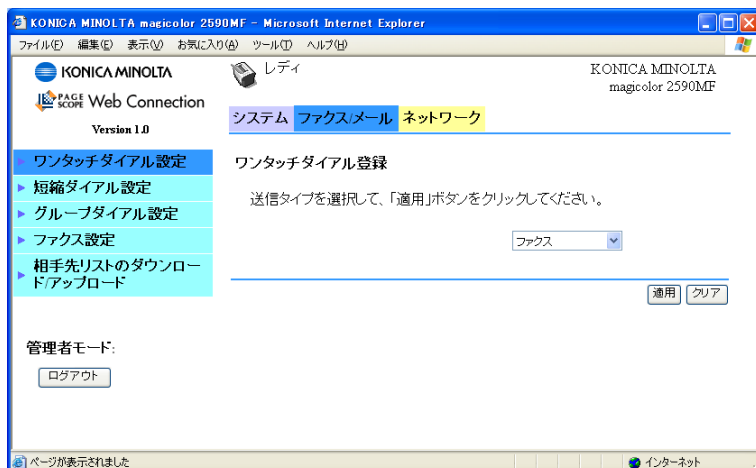
ファクス / メール画面

ファクス / メール画面では、本機に登録される宛先情報の設定やファクスの送受信に関する設定を行うことができます。

ワンタッチダイアル設定（上記画面）

ファクス / メール ― ワンタッチダイアル設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
No.	ワンタッチダイアル番号が表示されます。 ワンタッチダイアルが登録されていない場合、番号をクリックするとワンタッチダイアル登録画面が表示されます。ワンタッチダイアル登録画面で、登録したい送信タイプを選択して設定を行います。 ワンタッチダイアルがすでに登録されている場合、番号をクリックすると登録情報を編集できます。
名前	ワンタッチダイアル番号に登録された相手先の名前が表示されます。
相手先アドレス	ワンタッチダイアル番号に登録された相手先アドレスが表示されます。
速度	ワンタッチダイアルに登録された相手先にファクスするときの伝送速度が表示されます。
［削除］ボタン	クリックしたワンタッチダイアル番号の登録情報を削除します。

ワンタッチダイアル登録

ファクス / メール － ワンタッチダイアル設定 － ワンタッチダイアル登録画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
ワンタッチダイアル登録	ワンタッチダイアルに登録したい送信タイプを選択します。 「ファクス」を選択すると、ファクス送信先画面が表示されます。 「メール」を選択すると、メール送信先画面が表示されます。 「グループダイアル」を選択すると、グループダイアル登録画面が表示されます。 設定値：ファクス、メール、グループダイアル 初期値：ファクス
［適用］ボタン	選択した送信タイプの登録画面が表示されます。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

ファクス送信先

ファクス / メール ー ワンタッチダイアル設定 ー ワンタッチダイアル登録 ー ファクス送信先画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
相手名	相手先の名前を指定します。 範囲：　半角 20 文字以下（カタカナ、英数字） 初期値：（空白） 相手名には全角文字を使用できません。
ファクス番号	送信先のファクス番号を指定します。 範囲：　半角 50 文字以下 初期値：（空白）
速度	ファクスの伝送速度を設定します。 設定値：9.6K、14.4K、33.6K 範囲：　33.6K
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

メール送信先

ファクス / メール － ワンタッチダイアル設定 － ワンタッチダイアル登録 － メール送信先画面では、以下の項目を設定できます。

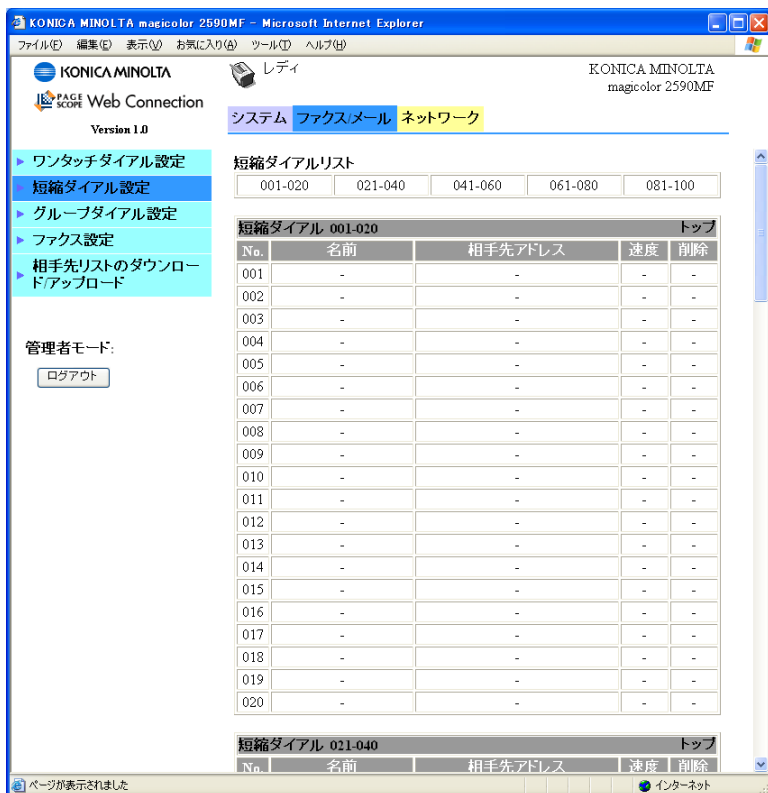
項目	説明
相手名	相手先の名前を指定します。 範囲： 半角 20 文字以下（カタカナ、英数字） 初期値：（空白） 相手名には全角文字を使用できません。
メールアドレス	送信先のメールアドレスを指定します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：（空白）
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

グループダイアル登録

ファクス / メール ー ワンタッチダイアル設定 ー ワンタッチダイアル登録 ー グループダイアル登録画面では、以下の項目を設定できます。

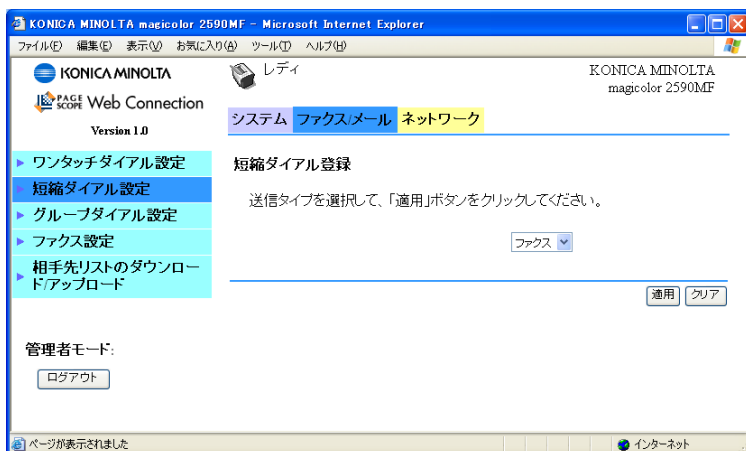
項目	説明
グループダイアル名	グループダイアル名を指定します。 範囲：　半角 20 文字以下（カタカナ、英数字） 初期値：（空白） グループダイアル名には全角文字を使用できません。
ワンタッチダイアルのインデックス	同じ画面内のワンタッチダイアルのリストにジャンプします。
短縮ダイアルのインデックス	同じ画面内の短縮ダイアルのリストにジャンプします。

項目	説明
ワンタッチ 01-09	ワンタッチダイアルのリストが表示されます。 登録されたワンタッチダイアル番号の左側のチェックボックスをチェックすることで、ワンタッチダイアルの送信先をグループダイアルに登録することができます。
短縮ダイアル 001-020 短縮ダイアル 021-040 短縮ダイアル 041-060 短縮ダイアル 061-080 短縮ダイアル 081-100	短縮ダイアルのリストが表示されます。 チェックボックスをチェックすることで、短縮ダイアルの送信先をグループダイアルに登録することができます。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

短縮ダイアル設定

ファクス / メール － 短縮ダイアル設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
短縮ダイアルリスト	同じ画面内の短縮ダイアルのリストにジャンプします。
No.	短縮ダイアル番号が表示されます。 短縮ダイアルが登録されていない場合、番号をクリックすると短縮ダイアル登録画面が表示されます。短縮ダイアル登録画面で、登録したい送信タイプを選択して設定を行います。 短縮ダイアルがすでに登録されている場合、番号をクリックすると登録情報を編集できます。
名前	短縮ダイアル番号に登録された相手先の名前が表示されます。

項目	説明
相手先アドレス	短縮ダイアル番号に登録された相手先アドレスが表示されます。
速度	短縮ダイアルに登録された相手先にファクスするときの伝送速度が表示されます。
［削除］ボタン	クリックした短縮ダイアル番号の登録情報を削除します。

短縮ダイアル登録

ファクス / メール ― 短縮ダイアル設定 ― 短縮ダイアル登録画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
短縮ダイアル登録	短縮ダイアルに登録したい送信タイプを選択します。 「ファクス」を選択すると、ファクス送信先画面が表示されます。 「メール」を選択すると、メール送信先画面が表示されます。 設定値：ファクス、メール 初期値：ファクス
［適用］ボタン	選択した送信タイプの登録画面が表示されます。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

ファクス送信先

ファクス / メール ー 短縮ダイアル設定 ー 短縮ダイアル登録 ー ファクス送信先画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
相手名	相手先の名前を指定します。 範囲： 半角 20 文字以下（カタカナ、英数字） 初期値：（空白） 相手名には全角文字を使用できません。
ファクス番号	送信先のファクス番号を指定します。 範囲： 半角 50 文字以下 初期値：（空白）
速度	ファクスの伝送速度を設定します。 設定値： 9.6K、14.4K、33.6K 範囲： 33.6K
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

メール送信先

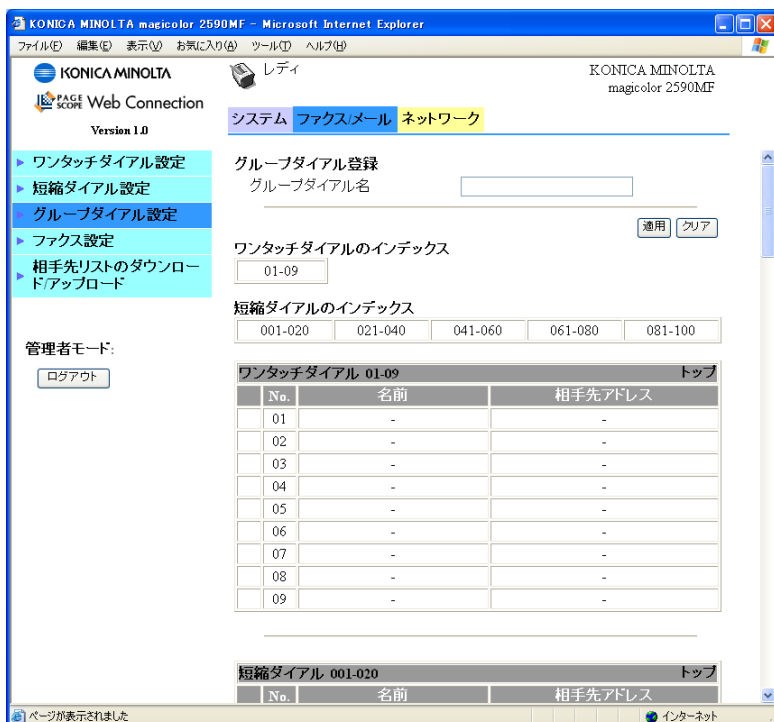
ファクス / メール ― 短縮ダイアル設定 ― 短縮ダイアル登録 ― メール送信先画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
相手名	相手先の名前を指定します。 範囲： 半角 20 文字以下（カタカナ、英数字） 初期値：（空白） 相手名には全角文字を使用できません。
メールアドレス	送信先のメールアドレスを指定します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：（空白）
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

グループダイアル設定

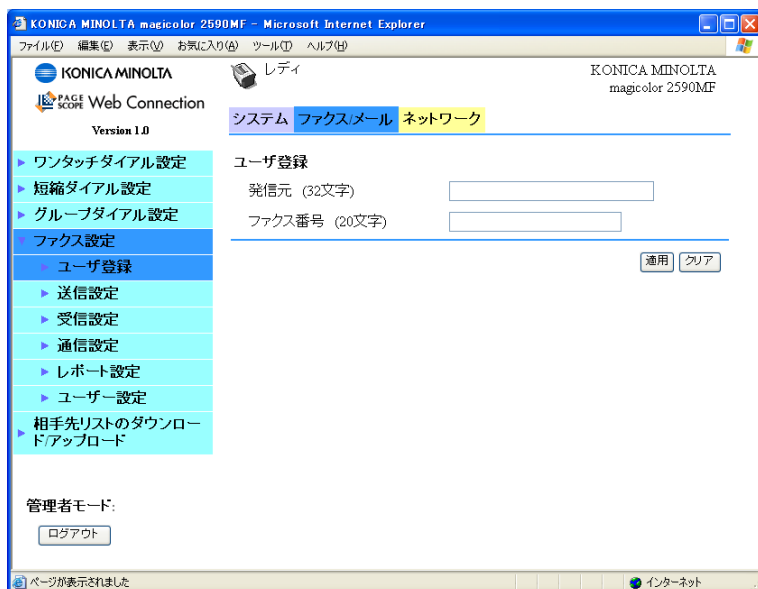
ファクス / メール ― グループダイアル設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
No.	グループダイアル番号が表示されます。 グループダイアルが登録されていない場合、番号をクリックするとグループダイアル登録画面が表示されます。 グループダイアルがすでに登録されている場合、番号をクリックすると登録情報を編集できます。
名前	グループ名が表示されます。
相手先アドレス	グループダイアル登録されている場合、「(グループダイアル)」と表示されます。
［削除］ボタン	クリックしたグループダイアル番号の登録情報を削除します。

グループダイアル登録

ファクス / メール – グループダイアル設定 – グループダイアル登録画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
グループダイアル名	グループダイアル名を指定します。 範囲：　半角 20 文字以下（カタカナ、英数字） 初期値：（空白） グループダイアル名には全角文字を使用できません
ワンタッチダイアルのインデックス	同じ画面内のワンタッチダイアルのリストにジャンプします。
短縮ダイアルのインデックス	同じ画面内の短縮ダイアルのリストにジャンプします。

項目	説明
ワンタッチダイアル 01-09	ワンタッチダイアルのリストが表示されます。 登録されたワンタッチダイアル番号の左側のチェックボックスをチェックすることで、ワンタッチダイアルの送信先をグループダイアルに登録することができます。
短縮ダイアル 001-020 短縮ダイアル 021-040 短縮ダイアル 041-060 短縮ダイアル 061-080 短縮ダイアル 081-100	短縮ダイアルのリストが表示されます。 登録された短縮ダイアル番号の左側のチェックボックスをチェックすることで、短縮ダイアルの送信先をグループダイアルに登録することができます。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

ファクス設定 - ユーザ登録

ファクス / メール ― ファクス設定 ― ユーザ登録画面では、ユーザー情報の登録ができます。

項目	説明
発信元	発信元名を設定します。 範囲： 半角 32 文字以下（カタカナ、英数字） 初期値：（空白） 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ － ﾊｯｼﾝ ﾓﾄ 発信元には全角文字を使用できません。
ファクス番号	ファクス番号を設定します。 範囲： 半角 20 文字以下 初期値：（空白） 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ － ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

ファクス設定 - 送信設定

ファクス / メール ― ファクス設定 ― 送信設定ページでは、ファクスの送信に関する設定ができます。

項目	説明
読取り濃度	スキャン原稿の読取り濃度を設定します。 設定値： -1、0、+1 初期値： 0 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ ‒ ｽｷｬﾝ ﾉｳﾄﾞ
解像度	スキャンの解像度を設定します。 設定値：スタンダード、ファイン、スーパーファイン、ハーフトーン / スタンダード、ハーフトーン / ファイン、ハーフトーン / スーパーファイン 初期値：スタンダード 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ ‒ ｶｲｿﾞｳﾄﾞ

項目	説明
ヘッダ	送信する文書に本機の発信元情報（送信日時、送信者名、送信者ファクス番号、セッション番号、ページ番号）を印字するかどうか設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オン 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ - ﾍｯﾀﾞ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

ファクス設定 - 受信設定

ファクス / メール ― ファクス設定 ― 受信設定画面では、ファクスの受信に関する設定ができます。

項目	説明
メモリ受信モード	機密文書の受信のため、メモリ受信するかどうか設定します。メモリ受信モードを「オン」にすると、受信文書はメモリに蓄積され、指定した時間に出力されます。または、メモリ受信モードを「オフ」にしたときに出力されます。メモリ受信モードを設定するときに、パスワードの設定もできます。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ － ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
オン時刻	メモリ受信モードをオンにする時刻を設定します。 範囲： 00：00 ～ 23:59 初期値：（空白）
オフ時刻	メモリ受信モードをオフにする時刻を設定します。 範囲： 00：00 ～ 23:59 初期値：（空白）

項目	説明
パスワード	メモリ受信モードのオン / オフ時刻を設定する場合やメモリ受信モードをキャンセルする場合のパスワードを設定します。 範囲：　4 桁 初期値：（空白）
自動受信モード	自動で受信するか手動で受信するか設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オン 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ － ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
呼び出し回数	ファクス受信開始までの呼び出し音の回数を設定します。 範囲：　0 〜 15 初期値：2 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ － ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
フッタプリント	受信した文書に受信情報（受信日時、相手先ファクス番号など）を印字するかどうか設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ － ﾌｯﾀ
縮小受信	本機の印刷用紙よりも長い文書を受信した場合に、縮小するか（オン）、分割するか（オフ）、破棄するか（カット）を選択します。 設定値：オン、オフ、カット 初期値：オン 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ － ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ
Receive Print	ファクス受信時に、受信が完了してから印刷するか、受信しながら印刷するかを設定します。 設定値：メモリ受信、受信プリント 初期値：メモリ受信 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ － ｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ

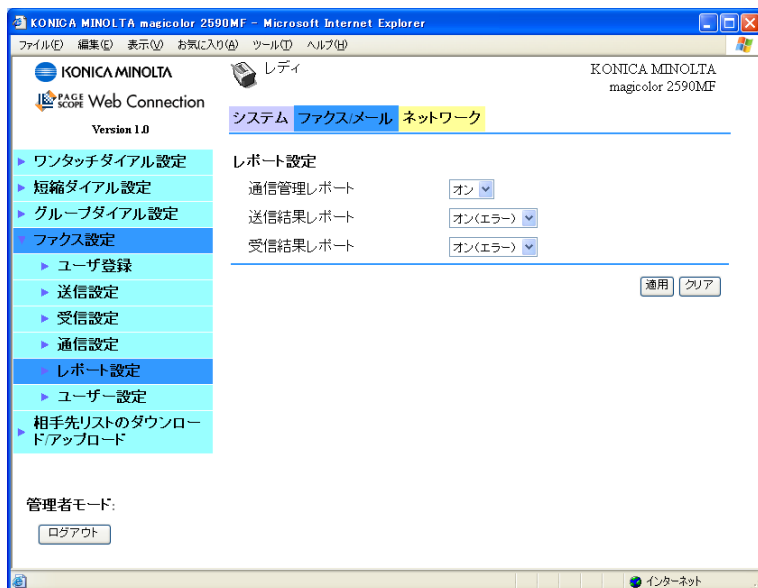
項目	説明
トレイ選択	受信ドキュメントを印刷する際の給紙トレイを選択します。 ■ トレイ 2 が装着されていない場合 設定値： トレイ 1 有効 トレイ 1 無効 初期値： トレイ 1 有効 ■ トレイ 2 が装着されている場合 設定値： トレイ 1、2 有効 トレイ 1、2 無効 トレイ 1 無効、トレイ 2 有効 トレイ 1 有効、トレイ 2 無効 初期値： トレイ 1、2 有効 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ － ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

ファクス設定 - 通信設定

ファクス / メール ― ファクス設定 ― 通信設定画面では、ファクスの通信に関する設定ができます。

項目	説明
トーン / パルス	お使いの電話回線のダイアル方法を設定します。 設定値： トーン、パルス（10 PPS）、パルス（20 PPS） 初期値： トーン 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ － ﾃﾞﾝﾜｾﾝ ﾉ ﾀｲﾌﾟ
モニター音量	回線モニターの音量を選択します。 設定値：大、小、オフ 初期値：小 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ － ﾓﾆﾀ ｵﾝﾘｮｳ この設定を「オフ」にしても、本機の操作パネルの［オンフック］ボタンを押せばモニタ音を聞くことができます。

項目	説明
PSTN/PBX	「PSTN」または「PBX」は、ご利用の環境に合わせて選択してください。 「PSTN」は、ご利用の環境に電話交換機などがない場合に選択します。 「PBX」は、ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合に選択します。 設定値：PSTN、PBX PBX の範囲：0 ～ 9999（初期値：空白） 初期値：PSTN 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ - PSTN/PBX
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

ファクス設定 - レポート設定

ファクス / メール ― ファクス設定 ― レポート設定画面では、レポートの送信に関する設定ができます。

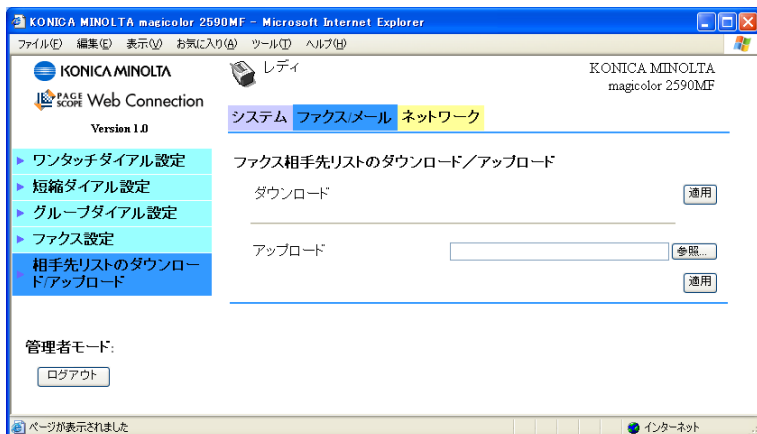
項目	説明
通信管理レポート	通信管理レポートを印刷するかどうか設定します。「オン」に設定すると、通信 60 件ごとに印刷されます。通信管理レポートで送受信の結果を確認できます。 設定値： オン、オフ 初期値： オン 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ ｰ ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

項目	説明
送信結果レポート	送信後に、送信結果レポートを印刷するかどうか設定します。 「オン」に設定した場合、送信ごとに送信結果レポートを印刷します。 「オン（エラー)」に設定した場合、送信エラーが発生したときのみ送信結果レポートを印刷します。 「オフ」に設定した場合、送信結果レポートを印刷しません。 設定値：オン、オン（エラー)、オフ 初期値：オン（エラー） 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ - ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ
受信結果レポート	受信後に、送信結果レポートを印刷するかどうか設定します。 「オン」に設定した場合、受信ごとに受信結果レポートを印刷します。 「オン（エラー)」に設定した場合、受信エラーが発生したときのみ受信結果レポートを印刷します。 「オフ」に設定した場合、受信結果レポートを印刷しません。 設定値： オン、オン（エラー)、オフ 初期値： オン（エラー） 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ - ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

ファクス設定 - ユーザー設定

ファクス / メール － ファクス設定 － ユーザー設定画面では、その他のファクスに関する設定ができます。

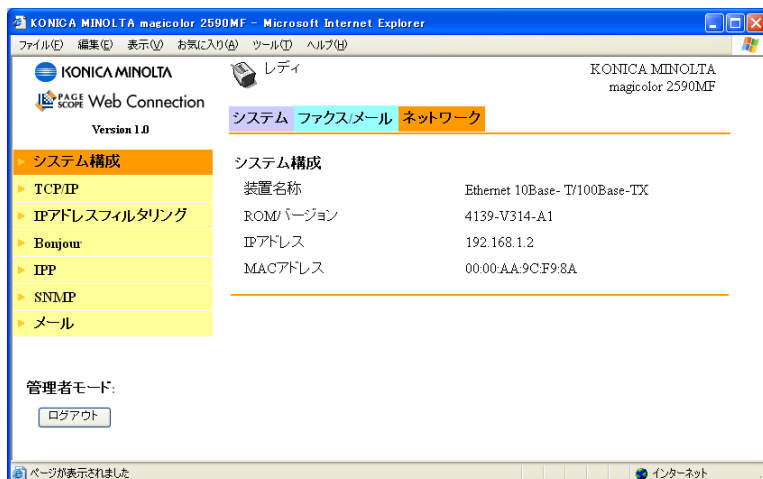
項目	説明
ファクス PTT 設定	本機を設置している国が表示されます。 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ － ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ
データ形式	日付の表示形式を設定します。 設定値：MM/DD/YY、DD/MM/YY、YY/MM/DD 初期値：MM/DD/YY 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ － ﾋﾂﾞｹ ﾉ ｹｲｼｷ
固定倍率	ズーム倍率のプリセットで使用する単位系を、インチまたはミリメートルのいずれかに設定します。 設定値：インチ、メトリック 初期値：メトリック 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ － ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

相手先リストのダウンロード / アップロード

ファクス / メール ― 相手先リストのダウンロード / アップロード画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
ダウンロード	［適用］ボタンをクリックすると、登録情報ファイルをコンピュータに保存します。
アップロード	登録情報ファイルの場所を指定し、［適用］ボタンをクリックすると本機に登録情報をアップロードします。

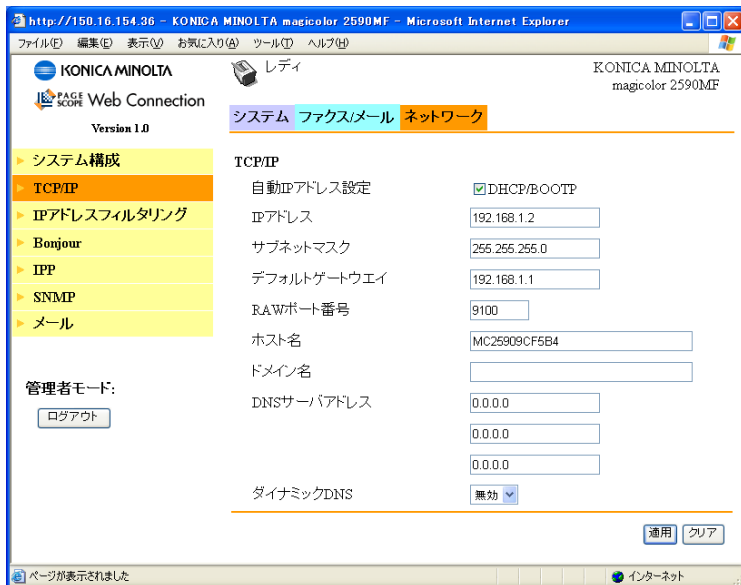
ダウンロードした CSV ファイルを修正したい場合は、テキストエディタを使用してください。テキストエディタ以外で保存した場合、アップロード時にエラーが発生します。

ネットワーク画面

ネットワーク画面では、TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）の設定を行うことができます。これらのプロトコルの詳細については、第 6 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照してください。

システム構成（上記画面）

ネットワーク － システム構成画面では、以下の項目を表示します。

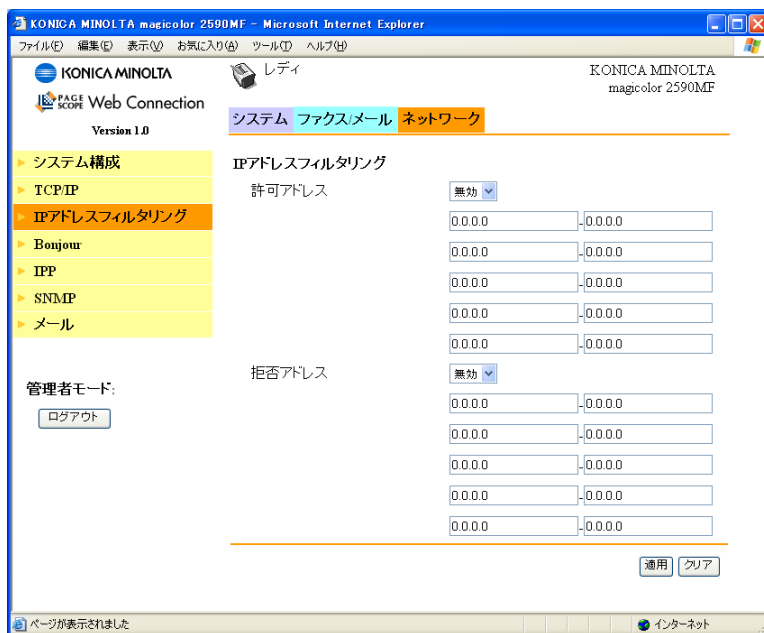
項目	説明
装置名称	ネットワークインターフェースの情報が表示されます。
ROM バージョン	ネットワークインターフェースコントローラの ROM バージョンが表示されます。
IP アドレス	イーサネットインターフェースの IP アドレスが表示されます。
MAC アドレス	イーサネットインターフェースの MAC（Media Access Control）アドレスが表示されます。

TCP/IP

ネットワーク － TCP/IP 画面では、以下の項目を設定できます。TCP/IP の詳細については、第 6 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照してください。

項目	説明
自動 IP アドレス設定	本機の IP アドレスの自動割り当て方法を設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オン 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ － IP ｱﾄﾞﾚｽ
IP アドレス *	本機の IP アドレスを設定します。 範囲： 各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値： 0.0.0.0 範囲外の数値の IP アドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックすると「正しいアドレスを入力してください。」というメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてから、適切な数値を入力しなおしてください。 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ － IP ｱﾄﾞﾚｽ

項目	説明
サブネットマスク *	本機のサブネットマスクアドレスを設定します。 範囲：　各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値：255.255.255.0 範囲外の数値のサブネットマスクアドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックすると「正しいアドレスを入力してください。」というメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてから、適切な数値を入力しなおしてください。 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ － ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
デフォルトゲートウェイ *	ネットワークでルータを使用している場合は、ルータのアドレスを設定します。 範囲：　各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値：0.0.0.0 範囲外の数値のルータのアドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックすると「正しいアドレスを入力してください。」というメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてから、適切な数値を入力しなおしてください。 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ － ｹﾞｰﾄｳｪｲ
RAW ポート番号	本機の TCP/IP ポートの RAW ポート番号が表示されます。 設定値：設定不可 初期値：9100 161、631 の RAW ポート番号は使用できません。
ホスト名	本機のホスト名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以下（カタカナ、英数字） 初期値：MC2590xxxxxx xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁です。
ドメイン名	ドメイン名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以下（カタカナ、英数字） 初期値：（空白）

項目	説明
DNS サーバアドレス	DNS サーバアドレスを設定します。 範囲： 各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値： 0.0.0.0 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ - DNS ｾｯﾃｲ
ダイナミック DNS	ダイナミック DNS 機能を使用するかどうか設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ - DDNS ｾｯﾃｲ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして初期設定に戻します。
* これらの項目は「自動 IP アドレス設定」を無効に設定している場合に入力できます。 これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。	

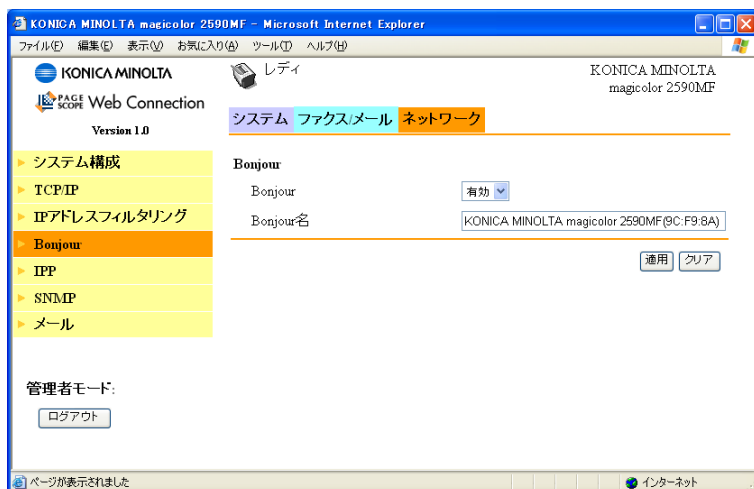
IP アドレスフィルタリング

ネットワーク － IP アドレスフィルタリング画面では、IP アドレスを指定して、プリンタへのアクセスを制限できます。

以下の設定は、DNS サーバおよび DHCP サーバへの通信には適用されません。

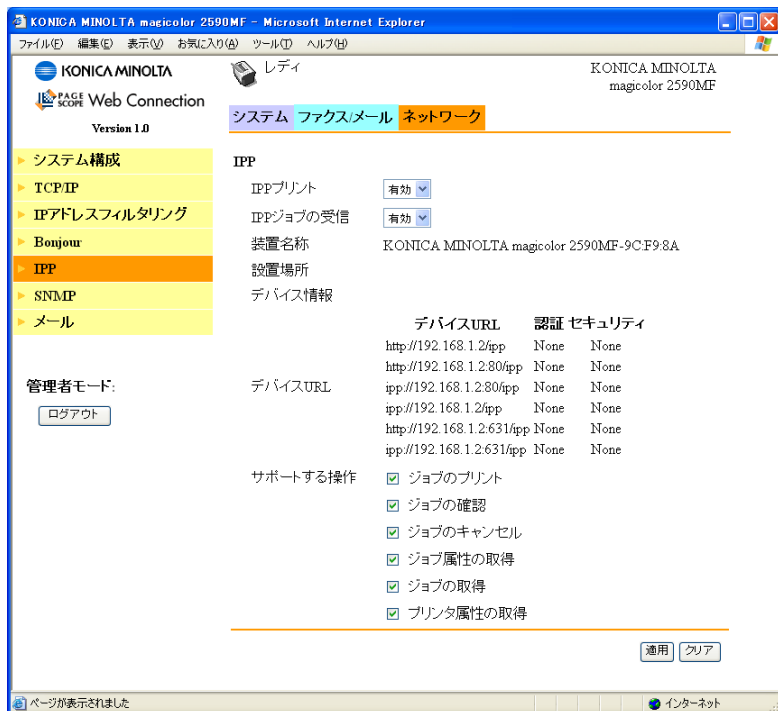
「許可アドレス」で許可した IP アドレスの範囲が、「拒否アドレス」で拒否した IP アドレス範囲と重複した場合は、「拒否アドレス」の拒否設定が優先されます。

項目	説明
許可アドレス	「有効」に設定すると、プリンタへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を指定できます。許可する IP アドレスの範囲は、5 つまで指定できます。また、指定した範囲以外の IP アドレスからのアクセスは拒否されます。 「無効」に設定すると、アクセス許可設定は無効になります。 設定値 ： 有効、無効 初期値 ： 無効

項目	説明
アクセスを許可する IP アドレス範囲	プリンタへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を指定します。左のテキストボックスに開始 IP アドレスを、右のテキストボックスに終了 IP アドレスを入力します。 範囲： 各 3 桁の数値が 0 ～ 225 初期値： 0.0.0.0 単独の IP アドレスを指定する場合には、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスとに同じ IP アドレスを入力するか、開始 IP アドレスもしくは終了 IP アドレスに 0.0.0.0 を入力します。 終了IPアドレスよりも開始IPアドレスの方の値が大きい場合、設定は反映されません。
拒否アドレス	「有効」に設定すると、プリンタへのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を指定できます。拒否する IP アドレスの範囲は、5 つまで指定できます。 「無効」に設定すると、アクセス拒否設定は無効になります。 設定値：有効、無効 初期値：無効
アクセスを拒否する IP アドレス範囲	プリンタへのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を指定します。左のテキストボックスに開始 IP アドレスを、右のテキストボックスに終了 IP アドレスを入力します。 範囲： 各 3 桁の数値が 0 ～ 225 初期値： 0.0.0.0 単独の IP アドレスを指定する場合には、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスとに同じ IP アドレスを入力するか、開始 IP アドレスもしくは終了 IP アドレスに 0.0.0.0 を入力します。 終了IPアドレスよりも開始IPアドレスの方の値が大きい場合、設定は反映されません。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

Bonjour

ネットワーク ー Bonjour 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
Bonjour	Bonjour 機能を有効にするかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
Bonjour 名	プリンタの Bonjour 名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以下 初期値：　KONICA MINOLTA magicolor 2590MF（xx:xx:xx） xx:xx:xx は、MAC アドレスの後半 6 桁です。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

IPP

ネットワーク ― IPP 画面では、以下の項目を設定できます。IPP の詳細については、第 6 章 " ネットワーク印刷 " を参照してください。

設定を有効にするためには、設定後にプリンタを再起動してください。

項目	説明
IPP プリント	IPP を有効にするかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
IPP ジョブの受信	IPP ジョブの受信を有効にするかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
装置名称	プリンタ名が表示されます。 初期値： KONICA MINOLTA magicolor 2590MF-xx:xx:xx xx:xx:xx は、MAC アドレスの後半 6 桁です。

項目		説明
設置場所		プリンタの設置場所が表示されます。 初期値：（空白）
デバイス情報		プリンタの情報が表示されます。 初期値：（空白）
デバイス URL		プリンタの URL、認証、セキュリティが表示されます。 初期値： ー http://IP アドレス /ipp　None　None ー http://IP アドレス :80/ipp　None　None ー ipp://IP アドレス :80/ipp　None　None ー ipp://IP アドレス /ipp　None　None ー http://IP アドレス :631/ipp　None　None ー ipp://IP アドレス :631/ipp　None　None
サポートする操作	ジョブのプリント	この項目をチェックすると、ジョブがプリントできるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブの確認	この項目をチェックすると、プリントジョブを確認できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブのキャンセル	この項目をチェックすると、ジョブをキャンセルできるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブ属性の取得	この項目をチェックすると、ジョブの属性を取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブの取得	この項目をチェックすると、ジョブを取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	プリンタ属性の取得	この項目をチェックすると、プリンタの属性を取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

SNMP

ネットワーク － SNMP 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
SNMP	SNMP を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

メール

ネットワーク － メール画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
送信	メールの送信を行うかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
送信者名	スキャンしたデータをメールで送信する時の、メール送信者の名前を設定します。 範囲：　半角 20 文字以下（カタカナ、英数字） 初期値：magicolor 2590MF 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ － ｿｳｼﾝｼｬ ﾒｲ

項目	説明
メールアドレス	スキャンしたデータをメールで送信する時の、 メール送信者のメールアドレスを設定します。 範囲：　半角 64 文字以下 初期値：（空白） 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ － ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ
件名	スキャンしたデータをメールで送信する時の、 メッセージの件名を設定します。 範囲：　半角 20 文字以下（カタカナ、英数字） 初期値：From mc2590MF 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ － ｹﾝﾒｲ
SMTP サーバアドレス	SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。 範囲：　半角 64 文字以下（カタカナ、英数字） 初期値：（空白） 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ － SMTP ｻｰﾊﾞ
ポート番号	SMTP サーバと通信時に使用するポート番号を設定します。 範囲：　1 ～ 65535 初期値：25 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ － SMTP ﾎﾟｰﾄ No.
接続タイムアウト	SMTP サーバの接続タイムアウトを設定します。 範囲：　30 ～ 300 初期値：60 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ － SMTP ｻｰﾊﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ
テキスト挿入	メールの本文にあらかじめ指定されたテキストを入れるかどうか設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能の本機操作パネルの設定メニュー： ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ － ﾃｷｽﾄ ｿｳﾆｭｳ
POP Before SMTP	POP Before SMTP を有効にするかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：無効

項目	説明
POP Before SMTP Time	SMTP サーバにログインしてから SMTP サーバにアクセスするまでの、時間を設定します。 範囲：　0 - 60（秒） 初期値：1
POP サーバアドレス	POP Before SMTP で、認証に使用する POP サーバのホスト名または IP アドレスを指定します。 範囲：　半角 255 文字以下 初期値：0.0.0.0
ログイン名	POP Before SMTP で、認証に使用するユーザー名を指定します。 範囲：　半角 63 文字以下 初期値：（空白）
パスワード	POP Before SMTP で、認証に使用するパスワードを指定します。 範囲：　半角 15 文字以下 初期値：（空白）
SMTP AUTH	SMTP 認証を有効にするかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：無効
発信元	SMTP 認証で、認証に使用するユーザー名を指定します。 範囲：　半角 63 文字以下 初期値：（空白）
パスワード	SMTP 認証で、認証に使用するパスワードを指定します。 範囲：　半角 15 文字以下 初期値：（空白）
Realm	Digest-MD5 で使用される Realm を指定します。 範囲：　半角 255 文字以下 初期値：（空白）
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして、初期設定に戻します。

送信者名、件名には半角カタカナ、英数字（一部の記号）を使用してください。それ以外の文字はメール相手先で文字化けが発生します。入力できる文字の詳細は、「magicolor 2590MF プリンタ / コピー / スキャナユーザーズガイド」をごらんください。

索引

M

N

P

R

S

T

W

ふ

へ

ほ

め

ゆ

り

わ